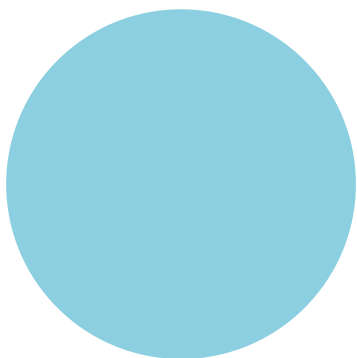


平成 28 年度

---

# FD 活動・研究報告書



岡崎女子大学  
岡崎女子短期大学

平成28年度 FD活動・研究報告書		
<b>1. はじめに</b>		<b>ページ</b>
1-1	FD活動の今年度の総括について	2
<b>2. 大学・短大FD委員会関係</b>		
2-1	平成28年度大学・短大FD委員会実施一覧	5
<b>3. 授業アンケート関係</b>		
	平成28年度前期	
3-1	「学生による授業アンケート」(前期)の実施について	7
3-2	授業アンケート記入用紙(前期)	8
3-3	授業アンケート実施一覧(大学前期)	10
3-4	授業アンケート実施一覧(短大前期)	13
3-5	授業アンケート実施結果(大学全科目)	19
3-6	授業アンケート実施結果(短大全科目)	20
3-7	授業アンケートの結果報告及び自己点検報告書の提出について	21
3-8	授業アンケートによる自己点検報告書(前期)	22
	平成28年度後期	
3-9	「学生による授業アンケート」(後期)の実施について	23
3-10	授業アンケート記入用紙(後期)	25
3-11	授業アンケート実施一覧(大学後期)	27
3-12	授業アンケート実施一覧(短大後期)	30
3-13	授業アンケート実施結果(大学全科目)	35
3-14	授業アンケート実施結果(短大全科目)	36
3-15	授業アンケートによる自己点検報告書(後期)	37
<b>4. FD研修会関係</b>		
4-1	平成28年度FD研修会について	39
4-2	第1回FD研修会案内	40
4-3	第1回FD研修会グループワーク報告	41
4-4	第2回FD研修会案内	46
4-5	第3回FD研修会案内	47
<b>5. 授業公開関係</b>		
5-1	平成28年度授業公開の実施について	49
5-2	授業公開コメント・自己評価用紙	51
5-3	「授業公開」実施結果	52
<b>6. ICT利用促進関係</b>		
6-1	教務等に係るWEBシステムへの要望等のまとめ	55
<b>7. おわりに</b>		
7-1	FD活動の今年度の総括と次年度の課題について	56

## はじめに ～FD活動の今年度の総括について～

## FD委員会

本学では、大学・短大それぞれの建学の精神に則り全学の3つのポリシーを定め、効果的かつ実質的な教育・研究活動及び地域貢献活動に繋げるため、教育等に関する様々なデータを分析し、教育・研究内容及び教育方法の改善・向上を図るFD委員会を設置している。FD委員会において企画した学内外の講師による「研修会」を行っている。また、「授業公開」、「授業アンケート」の実施とともに各教員が自己点検・評価することで、教育研究活動を一層向上させるよう努めている。

FD委員会は、大学と短大の合同組織であり、副学長、学部長、事務局長、教職員で構成されており、自己点検・評価委員会、教務委員会、その他関係部署との連携のもと、全学で教育目的の達成のために情報の共有や業務の連携を図っている。また、FD委員会の主導により、「授業アンケート」「授業公開」「FD研修会」を実施し、教育改善に取り組んでいる。詳細は、以下のとおりである。

学生による「授業アンケート」は、前期、後期ともに授業の13～15週の期間中に、すべての科目を対象として実施した（後期から、ゼミ及び受講生10名未満の科目も含む）。アンケートは、19項目の質問（5段階のリッカートスケール、但し予復習時間と難易度の2項目を除く）と授業に関する感想や意見の自由記述となっている。なお、平成26年度に授業アンケートの内容の改善を図り、26年度後期より新しい内容とし、27年度から引き続き実施している。設問項目は、①学生自身について、②授業について、③授業方法、教員について、④教育効果について、を下位領域とする19項目であり、自由記述として①授業で良かったと思う点、②教室・校舎等の環境改善への要望、となっている。専任教員の担当授業におけるアンケート実施度は高く、ほぼ全員が実施している。学期の終了後、集計結果データが授業担当教員に返却され、各教員が「授業アンケートによる自己点検報告書」を作成し、教務課に提出する。当報告書には、授業アンケートによる自己点検結果として、前回のアンケート結果を受け、今年度新たに“改善を試みた点”および今回の授業アンケート結果で“優れていた点・改善すべき点”を中心に記入することとし、各教員が教育目的の達成状況を自己点検するとともに、今後の授業改善方法の検討に活かしている。また、FD委員会において、実施状況や結果が報告され、大学全体としての課題や改善点について検討し、FD研修会や授業改善のための勉強会のテーマとしてつなげている。

「授業公開」の実施期間は、本年度より年間を通しての実施としている。平成25年度は任意実施であったが、平成26年度から常勤・非常勤を含めて原則全員実施へと強化している。授業公開は、継続的に行うことにより、日常的な授業におけるその内容・方法について教職員をはじめ、その他の人々による情報交換を行い、授業改善に資することを目的として実施している。また、教育内容の充実や教員としての教育力向上を目指すねらいもあ

る。授業参観者は、授業公開者に参観希望を事前に連絡し、参観後は「授業公開コメント・自己評価用紙」（上部）に意見や感想等を記入し、公開者に提出する。公開者は、その内容をふまえ同用紙（下部）に改善点等を記述し、教務課に提出する。26年度の手続きの煩雑さを改善し、27年度から授業公開・参観実施率が向上している。このような取り組みを通して、各教員が自らの授業を公開し、中立的・客観的にピアレビューを受けることにより、授業運営の改善に活かしている。

「FD研修会」について26年度から職員対象のSD委員会とも連携し、28年度も教職員両方が対象の研修会の形で実施することを試みている。建学の精神から3ポリシー、カリキュラムから教育内容・方法及び学修指導等の改善につながる構造の共通理解を図っている。また、学内外の講師による教育方法の改善に向けた研修を行い、教職員の事後のコメントにある様な一定の成果を得ている。各科目の授業内容の検証を授業アンケートから、学生生活全般の検証を学生満足度アンケートから行うことが可能となるので、今後はIRを設置するなどして、調査結果の分析・評価を各学科や関係部署に伝達し、授業運営や学修環境、学生の理解度等の具体的な課題を共有し解決していく体制づくりが必要である。

上記の「授業アンケート」「授業公開」「FD研修会」の実施については、FD委員会の中のワーキンググループが中心となって企画し、FD委員会での検討を経て教授会、学部・学科会議で周知され全学的に実施されている。また、実施された取り組みの結果は、授業担当者及び関係部署に適宜フィードバックされ、情報の共有化とともに共通認識の醸成を図っている。

## 2. 大学・短大F D委員会関係

平成28年度は計10回委員会を開催した。

実施日及び議題を次頁に掲載する。



## 平成28年度大学・短大FD委員会実施一覧

	実施日 出席人数	主な議題
1回	H.28.4.13 8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FD活動におけるワーキンググループについて</li> <li>・平成28年度FD活動方針</li> <li>・4ワーキング・グループ（以下4WG）の担当について</li> <li>・平成27年度後期授業アンケート集計結果について</li> </ul>
2回	H28.5.11 11人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度FD活動結果報告について</li> <li>・平成28年度FD活動方針</li> <li>・4WGの担当について（調整）</li> </ul>
3回	H28.6.8 11人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4WGの取り組みについて（進捗状況報告）</li> <li>・平成27年度FD活動報告書の作成について</li> </ul>
4回	H28.7.13 10人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4WGの取り組みについて（進捗状況報告）</li> <li>・平成27年度FD活動報告書の作成について</li> </ul>
5回	H28.9.14 10人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FD研修会実施案について</li> <li>・授業公開の実施進捗状況について</li> </ul>
6回	H28.10.12 10人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回FD研修会の実施概要について</li> </ul>
7回	H28.11.10 10人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回FD研修会実施報告について</li> <li>・第2回FD研修会実施概要について</li> <li>・授業公開の実施進捗状況について</li> </ul>
8回	H28.12.14 8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開の実施進捗状況について</li> </ul>
9回	H29.2.15 9人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回FD研修会実施概要について</li> <li>・授業公開の実施進捗状況について</li> </ul>
10回	H29.3.8 9人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回FD研修会実施報告について</li> <li>・授業公開の実施進捗状況について</li> </ul>

### 3. 授業アンケート関係

平成28年度は前期・後期の2度授業アンケートを実施した。

実施した内容とその結果を示す資料を次頁以降に掲載する。



平成28年7月1日

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学 授業担当教員各位

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学

学長 長柄孝彦

## 「学生による授業アンケート」（前期）の実施について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

今回、アンケート結果の授業改善への活用を図ることをねらいに、下記要領により「学生による授業アンケート」を実施させていただきたいと思いますので、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1 実施目的

本学教員が自分の授業内容および授業方法を改善するために、受講生の声を聞くことを目的として実施します。

#### 2 実施期間

前期授業の第13週から第15週の期間でお願いします。

#### 3 実施する授業

全ての授業科目（全コマ）で実施してください。

（但し、受講者10名未満の授業科目は、自由記述のみのアンケート用紙を使用します。）

#### 4 実施方法

- 必要枚数分のアンケート用紙は先生方のメールボックスに配付させていただきます。
- 授業時間内にアンケート回収に協力してもらえる学生を選出ください。
- 回収協力の学生選出後、アンケート用紙を配付してください。
- アンケート回収協力の学生に回収用の封筒を渡し、記入後のアンケートを回収させてください。（各先生は回収作業には関与しないでください。）
- 回収したアンケート用紙は、未使用のアンケート用紙も含めて封筒に入れ、回収協力学生に教務課まで、授業後すみやかに戻すようご指示ください。（教員自身が回収・返却をしないことを原則としています。）

#### 5 アンケート集計結果による自己点検報告書の提出

アンケートの集計は業者に委託します。後日、その集計結果をお届けしますので、自己点検評価をし、後日配付の「授業アンケートによる自己点検報告書」を提出してください。なお、ご提出頂いた報告書は、学修支援センターにて公表されますので、ご承知おきください。

問い合わせ先：教務課 神谷（雅）  
TEL 0564-28-3315



## 学生による授業アンケート

実施日 年 月 日

このアンケートは学生の視点を活用して、本学の授業の改善を図るためのものです。

- 調査は無記名で行い、個々の回答内容について公開されることはありません。
- 回答内容が成績に影響することはありません。
- 学生それぞれが、大学を構成する重要な一員として、本学の教育をより良いものにするという意識のもとに、率直に回答してください。
- 回答内容（数値データ）に関しては、ファイルにまとめ、授業担当者だけでなく、学生や教職員が学修支援センターで閲覧できるようにするとともに、教育環境の改善をする上での大切な資料とします。

■ 授業科目、教員氏名、あなたの学年クラスを記入してください。

授業科目		
教員氏名		
あなたの学年クラス	年	クラス

■ 1 から 19 の設問について、5 段階評価でもっとも適切な番号に○をつけてください。

### 【設 問 項 目】

選択基準： 5 と思う 4 少し思う  
3 どちらともいえない 2 あまり思わない  
1 そう思わない

#### 1 あなた自身について

- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
| 1 あなたは、授業内容（シラバス）を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 この授業 1 回(90 分)のための予習・復習に費やした時間は平均( )であった。<br>⑤ 4 時間以上 ④ 3 時間 ③ 2 時間 ② 1 時間<br>① 30 分以下 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| 4 あなたは、授業中のマナー(私語、居眠り、携帯電話、途中入退室等)を守ることができましたか。  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

#### 2 授業について

- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
| 5 授業内容（シラバス）や教員の事前の説明は目標、内容、評価方法を示し、分かりやすいものでしたか。        | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 この授業は、授業内容（シラバス）または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか？            | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7 課題の内容や量は適切でしたか。  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8 授業内容の難易度は適切でしたか。<br>⑤非常に難しい ④難しい ③適切 ②やさしい<br>①非常にやさしい | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

3 授業方法、教員について

9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。	5	4	3	2	1
10 教員の説明は分かりやすかったですか。	5	4	3	2	1
11 教員の話し方（声の大きさ、話す速さ、メリハリ等）は適切でしたか。	5	4	3	2	1
12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト（パワーポイント等）などの使い方は適切でしたか。	5	4	3	2	1
13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	5	4	3	2	1
14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	5	4	3	2	1
15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	5	4	3	2	1
16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	5	4	3	2	1

4 教育効果について

17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	5	4	3	2	1
18 授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	5	4	3	2	1
19 授業は全体として満足できるものでしたか。	5	4	3	2	1

■ 自由記述

○ この授業で評価すべき点、改善すべき点、気づいた点などについて書いてください。

○ 教室の設備や校舎の環境などについて改善を要望するようなことがありましたら書いてください。

平成28年度 授業アンケート実施一覧（大学前期）

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
1	長 柄 孝 彦	月	4	2S	声楽Ⅰ	8
2	小 宮 富 子	月	3	1S	基礎演習	18
3	小 宮 富 子	金	2	1T	英語総合（基礎）	18
4	小 宮 富 子	火	1	2ST3ST4ST	英語総合（中級）	10
5	矢 藤 誠慈郎	木	5	1ST	保育原理	70
6	矢 藤 誠慈郎	木	4	2ST	教育・保育課程論	60
7	大岩 みちの	火	4	1ST	子ども学総論	71
8	大岩 みちの	金	3	1T	保育内容総論	35
9	大岩 みちの	金	4	1S	保育内容総論	35
10	大岩 みちの	水	2	3ST	専門ゼミナールⅠ	7
11	大岩 みちの	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	4
12	赤羽根 有里子	火	3	1ST2ST	日本文学	55
13	赤羽根 有里子	金	1	1T	保育内容演習「言葉」Ⅰ	35
14	赤羽根 有里子	金	2	1S	保育内容演習「言葉」Ⅰ	35
15	赤羽根 有里子	金	3	3T	児童文化	39
16	赤羽根 有里子	火	2	4ST	児童文学	62
17	赤羽根 有里子	木	2	3ST	専門ゼミナールⅠ	6
18	赤羽根 有里子	木	4	4ST	専門ゼミナールⅢ	5
19	上 田 信 道	火	3	1ST2ST	日本文学	55
20	上 田 信 道	水	2	1S	文章表現法	36
21	上 田 信 道	金	4	3S	児童文化	41
22	上 田 信 道	火	2	4ST	児童文学	62
23	上 田 信 道	木	2	2ST	専門ゼミナールⅠ	4
24	上 田 信 道	木	4	4ST	専門ゼミナールⅢ	3
25	小川・北浦・佐部利・堀	火	1	1S	基礎音楽Ⅰ	36
26	小川・北浦・佐部利・堀	火	2	1T	基礎音楽Ⅰ	35
27	小川・麓	木	4	3S	幼児音楽Ⅰ	41
28	小川・麓	木	5	3T	幼児音楽Ⅰ	41
29	小 川 宣 子	火	3	4ST	専門ゼミナールⅢ	3
30	小 野 隆	月	3	2S	体育実技Ⅰ	30
31	小 野 隆	月	4	2T	体育実技Ⅰ	28
32	小 野 隆	水	2	3ST	専門ゼミナールⅠ	5
33	小 野 隆	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	1
34	小 原 倫 子	火	4	1ST	子ども学総論	71
35	小 原 倫 子	月	5	1ST	教育と発達の心理学Ⅰ	69
36	小 原 倫 子	月	2	1ST	子ども理解と評価	70
37	小 原 倫 子	水	2	3ST	専門ゼミナールⅠ	5
38	小 原 倫 子	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	4
39	岸 本 美 紀	火	5	3S	教育実習指導Ⅱ	43
40	岸 本 美 紀	金	3	2S	教育実習指導Ⅰ	32
41	岸 本 美 紀	金	4	2T	教育実習指導Ⅰ	28
42	岸 本 美 紀	金	2	3T	保育実習指導Ⅰa	40
43	岸 本 美 紀	水	2	3ST	専門ゼミナールⅠ	5
44	岸 本 美 紀	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	1
45	岸 本 美 紀	火	2	3T	教育実習指導Ⅱ	40
46	北浦・佐藤・西濱・原田	木	2	2S	基礎音楽Ⅲ	23
47	北 浦 恒 人	火	3	3ST	表現創作（作曲）	22
48	北浦・山内	金	1	4ST	実践音楽演習	32
49	北 浦 恒 人	水	2	3ST	専門ゼミナールⅠ	7

平成28年度 授業アンケート実施一覧（大学前期）

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
50	北 浦 恒 人	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	5
51	佐 善 圭	月	4	1S	造形Ⅰ	35
52	佐 善 圭	月	3	1T	造形Ⅰ	35
53	佐 善 圭	木	2	2T	造形Ⅲ	26
54	佐 善 圭	木	3	2S	造形Ⅲ	30
55	佐 善 圭	水	2	3ST	専門ゼミナールⅠ	7
56	佐 善 圭	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	7
57	白 石 さ や	木	1	1T	基礎演習	17
58	白 石 さ や	火	4	1ST	子ども学総論	71
59	白 石 さ や	水	2	3ST	専門ゼミナールⅠ	4
60	白 石 さ や	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	5
61	鈴 木 方 子	木	1	1S	乳児保育Ⅰ	35
62	鈴 木 方 子	金	4	1T	乳児保育Ⅰ	35
63	鈴 木 方 子	金	2	3S	保育実習指導Ⅰ a	41
64	鈴 木 方 子	木	2	3ST	専門ゼミナールⅠ	5
65	鈴 木 方 子	木	4	4ST	専門ゼミナールⅢ	5
66	仲 田 勝 美	木	4	4ST	専門ゼミナールⅢ	2
67	中 田 基 昭	火	4	1ST	子ども学総論	71
68	中 田 基 昭	火	5	2ST	教育学概論	59
69	中 田 基 昭	水	2	3ST	専門ゼミナールⅠ	7
70	中 田 基 昭	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	5
71	吉 村 譲	木	3	3S	保育実習指導Ⅰ b	41
72	吉 村 譲	水	2	3ST	専門ゼミナールⅠ	5
73	吉 村 譲	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	5
74	権 法 珠	木	1	2ST	相談援助Ⅰ	61
75	権 法 珠	水	2	3ST	専門ゼミナールⅠ	3
76	権 法 珠	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	4
77	白 垣 潤	木	4	3T	障がい児保育Ⅰ	40
78	白 垣 潤	木	5	3S	障がい児保育Ⅰ	41
79	白 垣 潤	水	2	3ST	専門ゼミナールⅠ	5
80	白 垣 潤	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	1
81	山 田 光 治	月	1	2ST	家庭支援論	60
82	山 田 光 治	木	3	3T	保育実習指導Ⅰ b	40
83	鳥 居 恵 治	火	1	1T	幼児体育Ⅰ	35
84	鳥 居 恵 治	火	2	1S	幼児体育Ⅰ	35
85	梅 下 弘 樹	金	3	4ST	特別支援教育	55
86	平 尾 憲 嗣	月	3	2T	声楽Ⅰ	6
87	山 田 悠 莉	金	2	4ST	表現創作（ダンス）	19
88	米 窪 洋 介	金	4	4ST	実践造形演習	39

平成28年度 授業アンケート実施一覧（大学前期）

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
89	日野水 憲	金	1	1S	英語総合（基礎）	17
90	鈴木 恒一	水	1	1T	保育内容演習「健康」Ⅰ	35
91	鈴木 恒一	金	3	1S	保育内容演習「健康」Ⅰ	25
92	松井 千代	金	1	1S	英語総合（基礎）	18
93	松井 千代	金	2	1T	英語総合（基礎）	17
94	笹瀬 佐代子	火	2	3S	女性のキャリアとマナー	41
95	花田 経子	月	3	1S	基礎演習	17
96	花田 経子	木	1	1T	基礎演習	18
97	花田 経子	月	4	1T	情報処理Ⅰ	34
98	花田 経子	水	1	1S	情報処理Ⅰ	35
99	花田 経子	木	2	4ST	教育調査と統計	7
100	花田 経子	水	2	3ST	専門ゼミナールⅠ	7
101	遠藤 幸子	火	2	2ST	子どもの保健Ⅰ	59
102	小川 英彦	木	4	1ST	社会的養護	70
103	加藤 早苗	水	1	2S	保育内容演習「人間関係」Ⅰ	30
104	加藤 早苗	水	2	2T	保育内容演習「人間関係」Ⅰ	28
105	虞 萍	火	4	2ST3ST4ST	中国語（入門）	21
106	久保原 信司	火	34	3ST4ST	ポルトガル語（入門）	15
107	佐藤・西濱・原田・山内	木	3	2T	基礎音楽Ⅲ	23
108	武田 康代	水	1	2T	子どもの食と栄養Ⅰ	28
109	武田 康代	水	2	2S	子どもの食と栄養Ⅰ	30
110	服部 次郎	木	2	1ST	児童家庭福祉	70
111	服部 次郎	木	1	2ST	相談援助Ⅰ	61
112	細川 壮平	金	2	2ST	日本国憲法	58
113	川口 勇作	火	3	1ST2ST	生活と統計	11
114	エドワード・バンダーアー	火	1	2ST3ST4ST	オーラル・イングリッシュ（初級）	21
115	山田 千穂子	水	1	3T	女性のキャリアとマナー	41
116	金 昭 鏐	木	1	3ST4ST	韓国語（入門）	7
117	本山 益子	金	3	3S	保育内容演習「表現」Ⅰ	41
118	本山 益子	金	4	3T	保育内容演習「表現」Ⅰ	40
119	古川 芳子	月	2	2ST	ジェンダー論	60
120	大野 久美子	金	3	2T	保育内容演習「環境」Ⅰ	28
121	大野 久美子	金	4	2S	保育内容演習「環境」Ⅰ	30
122	岡田 泰枝	木	3	4ST	幼小連携論	63
123	矢崎 太一	火	4	2ST3ST	科学と人間	3
124	川喜田 隆司	火	3	1ST2ST	地球と環境	7

平成28年度 授業アンケート実施一覧（短大前期）

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
1	鳥 居 恵 治	水	2	2ABCD・3EG	子どもの研究Ⅱ	20
2	鈴 木 恒 一	木	1	2E	教育実習（事前・事後指導を含む。）	42
3	鈴 木 恒 一	金	12	2A	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ（保育所）	47
4	鈴 木 恒 一	金	12	2B	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ（保育所）	46
5	鈴 木 恒 一	土	1	1EG	保育原理	88
6	鈴 木 恒 一	水	2	2ABCD・3EG	子どもの研究Ⅱ	18
7	梅 下 弘 樹	火	3	1A	基礎演習Ⅱ	44
8	梅 下 弘 樹	火	1	2C	障害児保育Ⅰ	38
9	梅 下 弘 樹	木	2	2A	障害児保育Ⅰ	47
10	梅 下 弘 樹	木	1	2G	障害児保育Ⅰ	42
11	梅 下 弘 樹	金	4	2B	発達と教育の心理学演習	46
12	梅 下 弘 樹	金	5	2D	発達と教育の心理学演習	44
13	梅 下 弘 樹	水	2	2ABCD・3EG	子どもの研究Ⅱ	17
14	鈴 木 穂 波	火	2	1A	保育内容演習（言葉）	45
15	鈴 木 穂 波	火	3	1C	保育内容演習（言葉）	43
16	鈴 木 穂 波	火	1	1G	保育内容演習（言葉）	44
17	鈴 木 穂 波	水	1	2A	児童文化演習Ⅰ	47
18	鈴 木 穂 波	金	3	2C	児童文化演習Ⅰ	42
19	鈴 木 穂 波	金	4	2D	児童文化演習Ⅰ	44
20	鈴 木 穂 波	金	5	2B	児童文化演習Ⅰ	46
21	鈴 木 穂 波	水	2	2ABCD・3EG	子どもの研究Ⅱ	17
22	妹尾・市川	月	2	1E	基礎音楽Ⅰ	44
23	妹尾・平尾	金	4	2A	幼児音楽Ⅰ	47
24	妹 尾 美智子	水	2	2ABCD・3EG	子どもの研究Ⅱ	15
25	滝沢・本田	火	4	1D	基礎音楽Ⅰ	44
26	滝沢・本田	火	5	1C	基礎音楽Ⅰ	43
27	滝沢・横田・山田悠	木	3	2AB	保育内容演習（表現）	93
28	滝沢・横田・山田悠	木	4	2CD	保育内容演習（表現）	86
29	滝沢・横田・山田悠	木	2	3EG	保育内容演習（表現）	80
30	滝 沢 ほだか	金	1	1G	基礎演習	44
31	滝沢・小野	金	2	2E	幼児音楽Ⅰ	42
32	滝 沢 ほだか	水	2	2ABCD・3EG	子どもの研究Ⅱ	18
33	野 田 美 樹	月	2	1D	教育実習（事前・事後指導を含む。）	44
34	野 田 美 樹	月	3	1C	教育実習（事前・事後指導を含む。）	43
35	野 田 美 樹	月	1	2G	保育内容演習（環境）	42
36	野 田 美 樹	火	1	2E	基礎演習Ⅲ	42
37	野 田 美 樹	火	2	2G	基礎演習Ⅲ	42
38	野 田 美 樹	金	3	1B	保育内容総論	44
39	野 田 美 樹	金	4	1A	保育内容総論	44
40	野 田 美 樹	水	2	2ABCD・3EG	子どもの研究Ⅱ	20
41	平尾・市川	月	4	1A	基礎音楽Ⅰ	44
42	平尾・山内	月	1	1G	基礎音楽Ⅰ	44
43	平尾・本田	水	1	2C	幼児音楽Ⅰ	43
44	平尾・小野	金	3	2D	幼児音楽Ⅰ	44
45	平 尾 憲 嗣	水	2	2ABCD・3EG	子どもの研究Ⅱ	20
46	真 木 弘	金	3	2A	健康とスポーツ（実技）	47
47	真 木 弘	金	1	2G	幼児体育Ⅰ	42
48	真 木 弘	金	2	3G	健康とスポーツ（実技）	38

平成28年度 授業アンケート実施一覧（短大前期）

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
49	山下 晋	火	4	1B	幼児体育 I	43
50	山下 晋	水	1	1C	保育内容演習（健康）	43
51	山下 晋	木	2	1C	幼児体育 I	43
52	山下 晋	木	3	1A	幼児体育 I	44
53	山下 晋	金	3	1B	保育内容演習（健康）	43
54	山下 晋	金	5	2C	健康とスポーツ（実技）	42
55	山下 晋	水	2	2ABCD・3EG	子どもの研究 II	20
56	山田 悠莉	月	2	1B	バフォーマンスボディ	43
57	山田 悠莉	月	4	1D	バフォーマンスボディ	44
58	山田 悠莉	月	1	2E	バフォーマンスボディ	34
59	山田 悠莉	水	1	2G	バフォーマンスボディ	28
60	山田 悠莉	水	2	2ABCD・3EG	子どもの研究 II	18
61	横田 典子	火	4	2C	幼児造形 II	42
62	横田 典子	火	1	1E	基礎造形	44
63	横田 典子	火	2	1G	基礎造形	44
64	横田 典子	金	1	2E	幼児造形 II	42
65	横田 典子	金	2	2G	幼児造形 II	42
66	横田 典子	水	2	2ABCD・3EG	子どもの研究 II	17
67	米窪 洋介	月	3	1D	基礎造形	44
68	米窪 洋介	月	2	2D	幼児造形 II	44
69	米窪 洋介	月	4	2A	幼児造形 II	47
70	米窪 洋介	火	2	1B	基礎造形	46
71	米窪 洋介	火	4	1C	基礎造形	43
72	米窪 洋介	水	1	1B	幼児造形 II	46
73	米窪 洋介	水	3	1A	基礎造形	44
74	米窪 洋介	金	1	1E	基礎演習	44
75	米窪 洋介	水	2	2ABCD・3EG	子どもの研究 II	20
76	渡部 努	月	2	1A	教育実習（事前・事後指導を含む。）	44
77	渡部 努	月	4	1B	教育実習（事前・事後指導を含む。）	43
78	渡部 努	月	5	1D	保育内容演習（健康）	45
79	渡部 努	水	2	1A	保育内容演習（健康）	44
80	渡部 努	水	1	1D	保育内容総論	45
81	渡部 努	金	5	1C	保育内容総論	43
82	丸山 笑里佳	木	1	3E	保育カウンセリング	42
83	丸山 笑里佳	木	2	2C	発達と教育の心理学演習	42
84	丸山 笑里佳	木	4	2A	発達と教育の心理学演習	47
85	丸山 笑里佳	木	1	3G	保育カウンセリング	38
86	丸山 笑里佳	金	3	1C	基礎演習 II	43
87	丸山 笑里佳	土	1	2G	発達と教育の心理学演習	42
88	丸山 笑里佳	土	2	2E	発達と教育の心理学演習	42

平成28年度 授業アンケート実施一覧（短大前期）

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
89	市原 潔	月	2	2MP	情報処理Ⅰ	19
90	市原 潔	月	3	2MP	コンピュータ資格講座Ⅱ	36
91	市原 潔	火	4	2MP	キャリアデザインⅡ	60
92	市原 潔	水	2	1MP	キャリアデザインⅠ	53
93	市原 潔	木	2	2MP	プログラミングⅠ	22
94	市原 潔	木	3	2MP	専門ゼミナールⅡ	9
95	河合 晋	月	2	1・2MP	会計学入門	58
96	河合 晋	火	1	1MP	簿記検定講座Ⅰ	40
97	河合 晋	火	2	1M	簿記原理Ⅰ	27
98	河合 晋	火	3	1P	簿記原理Ⅰ	26
99	河合 晋	水	1	2MP	コンピュータ会計（1限）	13
100	河合 晋	水	2	2MP	コンピュータ会計（2限）	21
101	河合 晋	木	2	1MP	教養ゼミナール	14
102	河合 晋	木	1	2MP	上級簿記Ⅰ	16
103	河合 晋	木	3	2MP	専門ゼミナールⅡ	17
104	黒野 伸子	火	4	1MP	医学一般	30
105	黒野 伸子	水	1	1MP	医療保障制度概論	29
106	黒野 伸子	木	2	1MP	教養ゼミナール	13
107	黒野 伸子	木	3	2MP	専門ゼミナールⅡ	17
108	黒野 伸子	金	2	1MP	診療報酬請求論Ⅰ	29
109	黒野 伸子	金	3	2MP	医療事務総論	20
110	黒野 伸子	金	4	2MP	診療報酬請求実務Ⅱ	19
111	笹瀬 佐代子	火	1	2MP	秘書実務Ⅱ	10
112	笹瀬 佐代子	水	2	1B	基礎演習Ⅱ	43
113	笹瀬 佐代子	水	1	2MP	コミュニケーション論	11
114	笹瀬 佐代子	木	4	2MP	ホスピタリティとマナーⅡ	37
115	笹瀬 佐代子	木	5	1MP	サービス接遇検定講座	44
116	笹瀬 佐代子	金	5	1D	基礎演習Ⅱ	44
117	日野水 憲	木	3	1MP	外国語コミュニケーションⅠ	39
118	祝田 学	月	3	1MP	マーケティング論	30
119	祝田 学	月	4	1・2MP	経営組織入門	58
120	祝田 学	月	5	2MP	図書館制度・経営論	14
121	祝田・町田	火	3	2MP	経営実務演習Ⅱ	60
122	祝田 学	木	2	1MP	教養ゼミナール	13
123	祝田 学	木	4	1MP	マネジメント論	53
124	祝田 学	木	3	2MP	専門ゼミナールⅡ	8
125	町田 由徳	木	1	1MP	基礎デザイン論	17
126	町田 由徳	木	2	1MP	教養ゼミナール	13
127	町田 由徳	木	3	2MP	専門ゼミナールⅡ	9
128	町田 由徳	金	1	1MP	生活用品デザイン	17
129	町田 由徳	金	2	2MP	CADオペレーションⅡ	18
130	町田 由徳	金	3	2MP	グラフィックデザイン	18
131	築山高彦	月	2	2AB	社会的養護	93
132	築山高彦	金	12	2D	保育実習指導Ⅰ（施設）	44
133	西川 由美子	火	1	2G	教育実習（事前・事後指導を含む。）	42
134	西川 由美子	金	12	2C	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ（保育所）	42
135	西川 由美子	金	12	2D	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ（保育所）	44
136	松井 千代	火	2	2MP	外国語コミュニケーションⅠ	22
137	松井 千代	火	5	2MP	英語検定講座Ⅱ	7
138	松井 千代	木	1	1A	外国語コミュニケーションⅠ	44
139	松井 千代	木	4	1C	外国語コミュニケーションⅠ	43
140	松井 千代	水	2	2ABCD・3EG	子どもの研究Ⅱ	18



平成28年度 授業アンケート実施一覧（短大前期）

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
141	後 藤 直 美	月	1	3G	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ	38
142	後 藤 直 美	水	1	2E	保育内容演習（環境）	42
143	後 藤 直 美	木	1	3E	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ	42
144	鈴 木 仁 人	金	1	1ABCD	日本語表現（1限）	43
145	鈴 木 仁 人	金	2	1ABCD	日本語表現（2限）	42
146	鈴 木 仁 人	金	3	1MP	文章表現基礎	53
147	矢 藤 誠慈郎	火	1	1AB	保育原理	87
148	矢 藤 誠慈郎	火	2	1CD	保育原理	89
149	矢 藤 誠慈郎	水	2	2ABCD・3EG	子どもの研究Ⅱ	11
150	大 岩 みちの	金	2	1E	保育内容総論	44
151	上 田 信 道	火	1	3G	児童文化演習	38
152	上 田 信 道	木	3	1B	保育内容演習（言葉）	44
153	上 田 信 道	金	1	3E	児童文化演習	42
154	小 野 隆	木	4	2B	健康とスポーツ（実技）	46
155	小 野 隆	木	5	2ABCD	レクリエーション演習	44
156	権 法 珠	火	1	2E	基礎演習Ⅲ	42
157	権 法 珠	火	2	2G	基礎演習Ⅲ	42
158	権 法 珠	金	12	2C	保育実習指導Ⅰ（施設）	42
159	白 垣 潤	火	2	2E	障害児保育Ⅰ	42
160	仲 田 勝 美	月	5	1CD	社会福祉	87
161	仲 田 勝 美	水	1	1AB	社会福祉	87
162	仲 田 勝 美	金	12	2B	保育実習指導Ⅰ（施設）	46
163	仲 田 勝 美	水	2	2ABCD・3EG	子どもの研究Ⅱ	11
164	吉 村 譲	木	2	1EG	社会福祉	88
165	吉 村 譲	金	12	2A	保育実習指導Ⅰ（施設）	47
166	花 田 経 子	木	4	1D	情報基礎演習Ⅰ	43
167	青 山 弘	水	45	2MP	情報資源組織演習	14
168	青 山 弘	金	5	2MP	図書館情報資源特論	12
169	池 和 子	木	1	1B	外国語コミュニケーションⅠ	43
170	池 和 子	木	2	1D	外国語コミュニケーションⅠ	43
171	石 川 澄 江	木	1	2MP	医療コンピュータ理論	24
172	石 川 澄 江	木	2	2MP	医学用語	24
173	市川・原田	月	3	1B	基礎音楽Ⅰ	43
174	市川・原田	木	1	2B	幼児音楽Ⅰ	46
175	内 田 博 昭	月	2	3E	健康とスポーツ（実技）	42
176	内 田 博 昭	月	1	2MP	健康とスポーツ（実技）Ⅰ	28
177	岡 田 摩 紀	土	1	2E	レクリエーション演習	12
178	岡 田 摩 紀	土	2	2G	レクリエーション演習	16
179	遠 藤 幸 子	火	1	2AB	子どもの保健Ⅰ	107
180	遠 藤 幸 子	木	1	2A	子どもの保健演習	47
181	遠 藤 幸 子	木	2	2D	子どもの保健演習	44
182	太 田 二 郎	月	3	2CD	社会的養護	87
183	太 田 二 郎	月	2	2EG	社会的養護	84
184	太 田 富士子	水	1	1G	乳児保育Ⅰ	44
185	太 田 富士子	水	2	1E	乳児保育Ⅰ	44
186	岡 本 純	木	1	1MP	商品学	19
187	岡 本 純	土	1	2MP	消費者心理	6

平成28年度 授業アンケート実施一覧（短大前期）

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
188	川 口 勇 作	月	1	1E	情報基礎演習 I	44
189	川 口 勇 作	月	2	1G	情報基礎演習 I	44
190	鈴 木 展 子	金	3	2B	子どもの保健演習	48
191	鈴 木 展 子	金	4	2C	子どもの保健演習	42
192	竹 内 典 夫	金	1	1ABCD	日本国憲法（1限）	44
193	竹 内 典 夫	金	2	1ABCD	日本国憲法（2限）	44
194	田 中 秀 吉	火	1	3E	子どもの食と栄養 I	39
195	田 中 秀 吉	火	2	3G	子どもの食と栄養 I	38
196	戸 谷 百合子	木	1	2CD	子どもの保健 I	77
197	鳥 当 法 子	木	2	2B	子どもの食と栄養 I	46
198	鳥 当 法 子	木	3	2D	子どもの食と栄養 I	44
199	中 田 伸 江	月	3	1D	幼児体育 I	44
200	中 田 伸 江	水	1	2D	健康とスポーツ（実技）	44
201	中 田 伸 江	水	2	2E	幼児体育 I	42
202	野 田 耕 平	火	2	1P	情報基礎演習 I	26
203	野 田 耕 平	火	3	1M	情報基礎演習 I	27
204	平 岩 ふみよ	月	3	2B	障害児保育 I	46
205	平 岩 ふみよ	月	4	2D	障害児保育 I	48
206	廣 瀬 伸 行	月	1	1MP	メディアデザイン	14
207	細 江 逸 雄	金	4	1CD	児童家庭福祉	87
208	細 江 逸 雄	金	5	1AB	児童家庭福祉	87
209	堀・本田	水	2	2G	幼児音楽 I	42
210	松 下 幸 子	火	3	1B	乳児保育 I	45
211	松 下 幸 子	火	4	1A	乳児保育 I	44
212	松 本 亜 実	月	3	1A	情報基礎演習 I	44
213	松 本 亜 実	月	4	1C	情報基礎演習 I	43
214	松 本 亜 実	月	5	1B	情報基礎演習 I	43
215	熊 崎 稔 子	月	2	2C	子どもの食と栄養 I	42
216	熊 崎 稔 子	月	3	2A	子どもの食と栄養 I	50
217	山 崎 千恵子	火	3	2A	保育内容演習（人間関係）	47
218	山 崎 千恵子	木	3	2C	保育内容演習（人間関係）	42
219	山 崎 千恵子	木	2	2EG	指導法の研究	84
220	村 田 幸 則	金	1	2MP	解剖生理学	19
221	村 田 幸 則	金	2	2MP	臨床検査学	18
222	前 川 芳 久	火	5	1・2MP	図書館概論	24
223	前 川 芳 久	金	4	1・2MP	図書館サービス概論	26
224	前 川 芳 久	金	5	2MP	図書・図書館史	13
225	飛 石 眞理子	土	2	2MP	児童サービス論	12
226	エドワード・バンダーアール	火	2	2ABCD	英語 I	6
227	河 合 悦 子	月	1	1D	乳児保育 I	44
228	河 合 悦 子	月	2	1C	乳児保育 I	43
229	河 合 悦 子	火	3	2B	保育内容演習（人間関係）	46
230	河 合 悦 子	火	4	2D	保育内容演習（人間関係）	44
231	竹 内 美 都	月	1	3E	外国語コミュニケーション I	43
232	竹 内 美 都	月	2	3G	外国語コミュニケーション I	38
233	今 井 昌 彦	火	3	2CD	教育方法論	86
234	今 井 昌 彦	火	4	2AB	教育方法論	93
235	井 上 美喜子	火	2	1E	保育内容演習（言葉）	44
236	井 上 美喜子	金	3	1D	保育内容演習（言葉）	44
237	井 上 美喜子	金	2	1G	保育内容総論	44
238	一ノ尾 志 保	火	1	3G	子どもの保健演習	36
239	一ノ尾 志 保	火	2	3E	子どもの保健演習	42
240	竹 本 行 雄	水	1	1E	日本語表現	44

平成28年度 授業アンケート実施一覧(短大前期)

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
241	竹 本 行 雄	水	2	1G	日本語表現	44
242	林 陽 子	木	2	1AB	保育者論	87
243	林 陽 子	木	3	1CD	保育者論	88
244	鳥 田 直 哉	木	1	1EG	教育原理	97
245	丹 羽 丈 司	金	1	3G	保育内容演習（健康）	38
246	丹 羽 丈 司	金	2	3E	保育内容演習（健康）	42

## 2016年度前期 学生による授業アンケート集計結果

### 全体集計（大学）

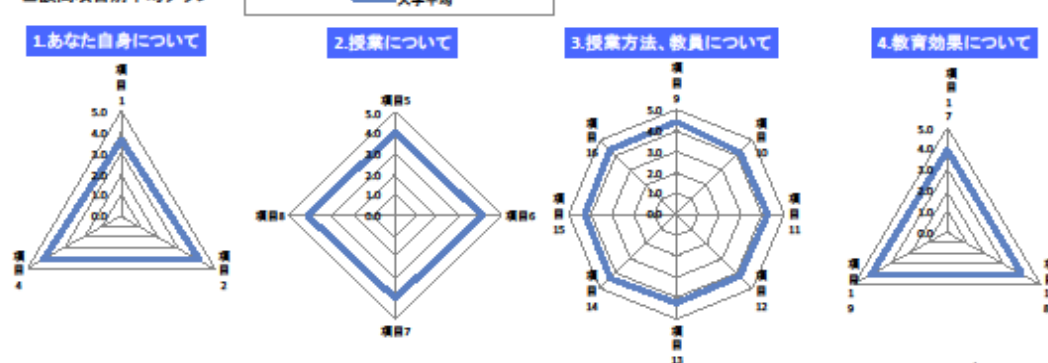
■ 受講者数 3,539名  
■ 回答者数 3,105名  
■ 回答率 87.7%

※無回答・重複回答は集計対象外

大項目	項目	大学平均	肯定回答率	⑤ そう思う	④ 少し思う	割合 い③ えな らとも	② あまり 思わ	① そう 思わ	⑤ そう 思う	④ 少し 思う	割合 い③ えな らとも	② あまり 思わ	① そう 思わ	合計	
1 あなた自身について	1 あなたは、授業内容(シラバス)を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	3.65	54.7%	23.1%	31.6%	36.1%	5.7%	3.5%	716	980	1,121	177	108	3,102	
	2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.21	77.4%	47.8%	29.5%	19.7%	2.0%	0.9%	1,480	914	609	82	29	3,094	
	3 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした平均時間※	-	-	2.8%	3.7%	11.3%	27.2%	55.2%	81	114	349	838	1,700	3,082	
	4 あなたは、授業中のマナーを守ることができましたか。	4.20	77.1%	48.3%	28.6%	18.6%	3.4%	0.9%	1,499	894	576	106	27	3,102	
2 授業について	5 授業内容(シラバス)や教員の事前の説明は言葉、内容、評価方法を申し、分かりやすいものでしたか。	4.06	71.8%	39.1%	32.7%	24.6%	2.3%	1.3%	1,214	1,013	763	71	40	3,101	
	6 この授業は、授業内容(シラバス)または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか。	4.12	73.9%	42.1%	31.6%	23.2%	2.0%	0.8%	1,307	986	721	63	26	3,103	
	7 課題の内容や量は適切でしたか。	4.01	67.9%	40.5%	27.4%	26.4%	4.4%	1.3%	1,256	851	819	135	41	3,102	
	8 授業内容の難易度は適切でしたか。	4.14	-	6.7%	24.0%	66.5%	1.8%	1.0%	207	744	2,061	56	30	3,098	
3 授業方法、教員について	9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.43	87.1%	58.2%	28.8%	11.5%	1.0%	0.4%	1,800	891	356	32	12	3,091	
	10 教員の説明は分かりやすかったですか。	4.18	77.4%	48.9%	28.5%	18.5%	4.2%	1.8%	1,511	882	509	131	57	3,090	
	11 教員の話し方(声の大きさ、話す速さ、メリハリ等)は適切でしたか。	4.26	80.0%	52.2%	27.8%	14.7%	4.0%	1.3%	1,614	858	455	123	40	3,090	
	12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト(パワーポイント等)などの使い方は適切でしたか。	4.17	75.5%	47.6%	27.9%	19.9%	3.6%	1.1%	1,469	880	613	111	33	3,086	
	13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	4.25	78.3%	51.3%	26.9%	18.1%	2.6%	1.1%	1,587	832	558	79	35	3,091	
	14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	4.35	82.4%	55.7%	26.7%	15.3%	1.5%	0.8%	1,720	825	473	46	26	3,090	
	15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	4.27	78.5%	51.9%	26.6%	18.8%	1.9%	0.8%	1,604	821	579	59	25	3,088	
	16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	4.38	82.2%	58.8%	23.4%	15.6%	1.5%	0.7%	1,815	723	481	46	22	3,087	
4 教育効果について	17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	3.95	68.3%	31.2%	37.1%	25.4%	2.5%	0.8%	963	1,145	875	77	25	3,085	
	18 授業により知的に勉勵され、さらに深く勉強したくなりましたか。	4.04	71.1%	38.5%	32.6%	24.3%	3.5%	1.1%	1,189	1,005	750	108	34	3,086	
	19 授業は全体として満足できるものでしたか。	4.15	75.1%	44.6%	30.4%	21.2%	3.0%	0.8%	1,378	939	653	93	24	3,087	

※項目3は⑤4時間以上、④3時間、③2時間、②1時間、①30分以下、項目8は⑤非常に難しい、④難しい、③適切、②やさしい、①非常にやさしい  
平均:「⑤そう思う」「③適切」を5点、「④少し思う」「⑤非常に難しい」を4点、「③どちらともいえない」「②やさしい」を3点、「②あまり思わない」「④難しい」を2点、「①そう思わない」「①非常にやさしい」を1点として加重平均

■設問項目別平均グラフ



## 2016年度前期 学生による授業アンケート集計結果

### 全体集計（短大）

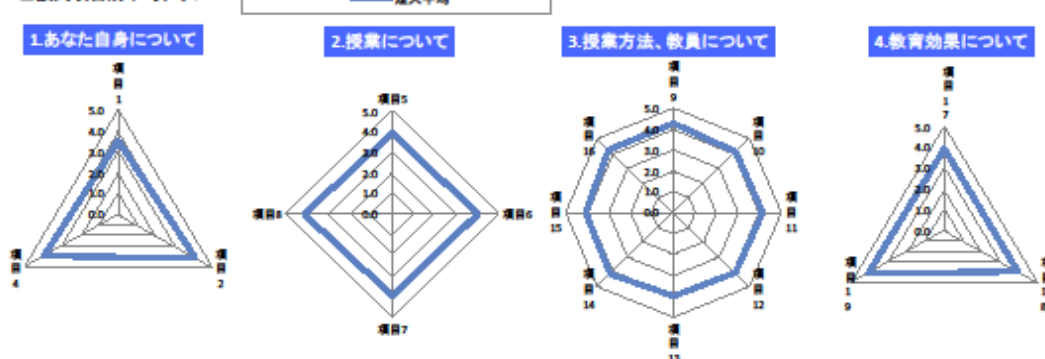
■受講者数 9,336名  
■回答者数 8,618名  
■回答率 92.3%

※無回答・重複回答は集計対象外

大項目	項目	短大平均	肯定回答率	⑤ そう思う	④ 少し思う	割合 ③ どちらともいえない	② あまり思わない	① そう思わない	⑤ そう思う	④ 少し思う	割合 ③ どちらともいえない	② あまり思わない	① そう思わない	合計	
1 あなた自身について	1 あなたは、授業内容(シラバス)を事前に読んでよく理解した上で授業に参加しましたか。	3.64	49.1%	19.2%	29.9%	40.2%	6.8%	3.9%	1,653	2,578	3,458	584	338	8,611	
	2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.13	74.7%	41.0%	33.6%	22.9%	1.9%	0.8%	3,526	2,891	1,967	182	50	8,596	
	3 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした平均時間※	-	-	3.5%	4.2%	12.5%	24.5%	55.3%	302	382	1,076	2,104	4,749	8,593	
2 授業について	4 あなたは、授業中のマナーを守ることができましたか。	4.01	69.0%	37.6%	31.4%	26.3%	3.8%	0.8%	3,235	2,705	2,266	330	72	8,608	
	5 授業内容(シラバス)や教員の事前の説明(目標、内容、評価方法等)を、分かりやすいものでしたか。	3.98	67.1%	33.3%	33.8%	29.0%	3.0%	0.9%	2,867	2,912	2,495	282	78	8,614	
	6 この授業は、授業内容(シラバス)または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか。	4.05	71.1%	37.7%	33.4%	25.9%	2.2%	0.8%	3,246	2,881	2,233	186	68	8,614	
3 授業方法、教員について	7 課題の内容や量は適切でしたか。	3.97	66.2%	36.9%	29.3%	28.4%	4.1%	1.3%	3,177	2,522	2,444	352	110	8,605	
	8 授業内容の難易度は適切でしたか。	4.16	-	6.2%	22.8%	67.2%	2.9%	1.0%	533	1,956	5,773	250	84	8,596	
	9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.29	81.1%	51.0%	30.1%	16.2%	2.0%	0.7%	4,382	2,584	1,393	189	62	8,590	
4 教育効果について	10 教員の説明は分かりやすかったですか。	4.11	74.5%	45.6%	28.9%	18.7%	4.8%	2.0%	3,921	2,480	1,610	409	170	8,590	
	11 教員の話し方(声の大きさ、話す速さ、メリハリ等)は適切でしたか。	4.15	75.1%	48.2%	26.9%	18.3%	4.6%	1.9%	4,141	2,308	1,574	397	167	8,587	
	12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト(パワーポイント等)などの使い方は適切でしたか。	4.07	71.3%	43.4%	27.9%	23.1%	4.0%	1.6%	3,721	2,395	1,984	345	137	8,582	
4 教育効果について	13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	4.01	68.1%	39.4%	28.7%	26.5%	4.1%	1.3%	3,385	2,462	2,271	350	115	8,583	
	14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	4.18	74.4%	46.5%	27.9%	22.1%	2.4%	1.1%	3,989	2,395	1,894	205	96	8,579	
	15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	4.09	71.3%	42.4%	28.9%	25.4%	2.2%	1.0%	3,839	2,481	2,184	193	88	8,585	
4 教育効果について	16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	4.26	77.9%	51.4%	26.5%	20.0%	1.3%	0.8%	4,409	2,271	1,717	115	67	8,579	
	17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	3.95	67.3%	30.4%	37.0%	30.1%	2.1%	0.5%	2,604	3,171	2,585	178	41	8,579	
	18 授業により知的に勉勵され、さらに深く勉強したくなりましたか。	3.99	68.7%	36.1%	32.6%	26.7%	3.6%	1.1%	3,099	2,796	2,290	305	91	8,581	
	19 授業は全体として満足できるものでしたか。	4.10	73.1%	41.8%	31.3%	23.4%	2.5%	1.0%	3,585	2,687	2,010	214	85	8,581	

※項目3は⑤4時間以上、④3時間、③2時間、②1時間、①30分以下、項目8は⑤非常に難しい、④難しい、③適切、②やさしい、①非常にやさしい  
平均：「⑤そう思う」「③適切」を5点、「④少し思う」「⑤非常に難しい」を4点、「③どちらともいえない」「②やさしい」を3点、「②あまり思わない」「④難しい」を2点、「①そう思わない」「①非常にやさしい」を1点として加重平均

### ■設問項目別平均グラフ



岡崎女子短期大学

平成28年10月5日

授業担当教員 各位

大学・短大FD委員会

### 授業アンケートの結果報告及び自己点検報告書の提出について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて、ご協力いただきました平成28年度前期授業アンケートの結果をご報告させていただきます。

なお、「授業アンケートによる自己点検報告書」を、10月22日（土）までに教務課へご提出くださいますようお願い申し上げます。

「授業アンケートによる自己点検報告書」の様式は、ホットビズのキャビネット「教務関係」にありますのでご利用ください。

メールで提出される場合は、教務課メールアドレス [kyoumu@okazaki.ac.jp](mailto:kyoumu@okazaki.ac.jp) へお願いします。

【授業アンケートによる自己点検報告書】(平成28年度前期)

所 属 学 科		教 員 氏 名	
授 業 科 目 名		授 業 形 態	講義 演習 実習 実技 その他
学 年	年	ク ラ ス	
【授業アンケートによる自己点検内容】			
<p>前回のアンケート結果を受けて、今年度新たに①“改善を試みた点”、今回の授業アンケート結果から、②“優れていた点”および③“改善すべき点”を中心に記入してください。</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>			
<p>総合評価として、当てはまるものに○を付けてください。</p> <p>あなたは、この授業のシラバスに記載した到達目標を学生に達成させることができましたか。</p> <p>5できた 4ある程度できた 3どちらともいえない 2あまりできなかった 1できなかった</p>			

平成28年12月24日

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学 授業担当教員各位

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学

学長 長柄孝彦

## 「学生による授業アンケート」（平成28年度後期）の実施について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

今回、アンケート結果の授業改善への活用を図ることをねらいに、下記要領により「学生による授業アンケート」を実施させていただきたいと思いますので、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1 実施目的

本学教員が自分の授業内容および授業方法を改善するために、受講生の声を聞くことを目的として実施します。

#### 2 実施期間

後期授業の第13週から第15週の期間でお願いします。

#### 3 実施する授業

全ての授業科目（全コマ）で実施してください。

（但し、受講者10名未満の授業科目は、自由記述のみのアンケート用紙を使用します。）

#### 4 実施方法

- ・必要枚数分のアンケート用紙は先生方のメールボックスに配付させていただきます。
- ・授業時間内にアンケート回収に協力してもらえる学生を選出ください。
- ・回収協力の学生選出後、アンケート用紙を配付してください。
- ・アンケート回収協力の学生に回収用の封筒を渡し、記入後のアンケートを回収させてください。（各先生は回収作業には関与しないでください。）
- ・回収したアンケート用紙は、未使用のアンケート用紙も含めて封筒に入れ、回収協力学生に教務課まで、授業後すみやかに戻すようご指示ください。（教員自身が回収・返却をしないことを原則としています。）

#### 5 アンケート集計結果による自己点検報告書の提出

アンケートの集計は業者に委託します。後日、その集計結果をお届けしますので、自己点検評価をし、後日配付の「授業アンケートによる自己点検報告書」を提出してください。なお、ご提出頂いた報告書は、学修支援センターにて公表されますので、ご承知おきください。

問い合わせ先：教務課 神谷（雅）  
TEL 0564-28-3315



平成28年12月24日

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学 授業担当教員各位

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学

学長 長柄孝彦

## 「学生による授業アンケート」（平成28年度後期）の実施について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

今回、アンケート結果の授業改善への活用を図ることをねらいに、下記要領により「学生による授業アンケート」を実施させていただきたいと思っておりますので、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1 実施目的

本学教員が自分の授業内容および授業方法を改善するために、受講生の声を聞くことを目的として実施します。

#### 2 実施期間

後期授業の第13週から第15週の期間でお願いします。

#### 3 実施する授業

全ての授業科目（全コマ）で実施してください。

（但し、受講者10名未満の授業科目は、自由記述のみのアンケート用紙を使用します。また、ゼミナールは、使用するアンケート用紙を教員にて選択し、実施してください。（別紙案内文をご覧ください。）

#### 4 実施方法

- ・ 必要枚数分のアンケート用紙は先生方のメールボックスに配付させていただきます。
- ・ 授業時間内にアンケート回収に協力してもらえる学生を選出ください。
- ・ 回収協力の学生選出後、アンケート用紙を配付してください。
- ・ アンケート回収協力の学生に回収用の封筒を渡し、記入後のアンケートを回収させてください。（各先生は回収作業には関与しないでください。）
- ・ 回収したアンケート用紙は、未使用のアンケート用紙も含めて封筒に入れ、回収協力学生に教務課まで、授業後すみやかに戻すようご指示ください。（教員自身が回収・返却をしないことを原則としています。）

#### 5 アンケート集計結果による自己点検報告書の提出

アンケートの集計は業者に委託します。後日、その集計結果をお届けしますので、自己点検評価をし、後日配付の「授業アンケートによる自己点検報告書」を提出してください。なお、ご提出頂いた報告書は、学修支援センターにて公表されますので、ご承知おきください。

問い合わせ先：教務課 神谷（雅）  
TEL 0564-28-3315

## 学生による授業アンケート

実施日 年 月 日

このアンケートは学生の視点を活用して、本学の授業の改善を図るためのものです。

- 調査は無記名で行い、個々の回答内容について公開されることはありません。
- 回答内容が成績に影響することはありません。
- 学生それぞれが、大学を構成する重要な一員として、本学の教育をより良いものにするという意識のもとに、率直に回答してください。
- 回答内容（数値データ）に関しては、ファイルにまとめ、授業担当者だけでなく、学生や教職員が学修支援センターで閲覧できるようにするとともに、教育環境の改善をする上での大切な資料とします。

■ 授業科目、教員氏名、あなたの学年クラスを記入してください。

授業科目		
教員氏名		
あなたの学年クラス	年	クラス

■ 1 から 19 の設問について、5 段階評価でもっとも適切な番号に○をつけてください。

### 【設 問 項 目】

選択基準： 5 と思う 4 少し思う  
3 どちらともいえない 2 あまり思わない  
1 そう思わない

#### 1 あなた自身について

- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
| 1 あなたは、授業内容（シラバス）を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 この授業 1 回(90 分)のための予習・復習に費やした時間は平均( )であった。<br>⑤ 4 時間以上 ④ 3 時間 ③ 2 時間 ② 1 時間<br>① 30 分以下 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| 4 あなたは、授業中のマナー(私語、居眠り、携帯電話、途中入退室等)を守ることができましたか。  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

#### 2 授業について

- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
| 5 授業内容（シラバス）や教員の事前の説明は目標、内容、評価方法を示し、分かりやすいものでしたか。        | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 この授業は、授業内容（シラバス）または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか？            | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7 課題の内容や量は適切でしたか。  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8 授業内容の難易度は適切でしたか。<br>⑤非常に難しい ④難しい ③適切 ②やさしい<br>①非常にやさしい | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

**3** 授業方法、教員について

9	教員に、授業への熱意が感じられましたか。	5	4	3	2	1
10	教員の説明は分かりやすかったですか。	5	4	3	2	1
11	教員の話し方（声の大きさ、話す速さ、メリハリ等）は適切でしたか。	5	4	3	2	1
12	黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト（パワーポイント等）などの使い方は適切でしたか。	5	4	3	2	1
13	教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	5	4	3	2	1
14	教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	5	4	3	2	1
15	教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	5	4	3	2	1
16	教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	5	4	3	2	1

**4** 教育効果について

17	あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	5	4	3	2	1
18	授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	5	4	3	2	1
19	授業は全体として満足できるものでしたか。	5	4	3	2	1

■ 自由記述

○ この授業で評価すべき点、改善すべき点、気づいた点などについて書いてください。

○ 教室の設備や校舎の環境などについて改善を要望するようなことがありましたら書いてください。

平成28年度 授業アンケート実施一覧（大学後期）

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
1	長 柄 孝 彦	金	3	2ST	声楽Ⅱ	3
2	小 宮 富 子	火	1	1T	英語総合（初級）	18
3	小 宮 富 子	金	2	2ST3ST4ST	英語総合（発展）	10
4	小 宮 富 子	金	4	1S	英語総合（初級）	18
5	矢 藤 誠慈郎	水	2	1ST	保育者論	70
6	矢 藤 誠慈郎	木	3	3ST	教育経営論	82
7	矢 藤 誠慈郎	火	3	2ST	教育方法論	56
8	矢 藤 誠慈郎				長期フィールド実習	5
9	大 岩 みちの	木	4	3ST	保育方法論	81
10	大 岩 みちの	木	5	2ST	保育の計画と評価	56
11	大 岩 みちの	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	7
12	大 岩 みちの	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	4
13	大 岩 みちの				長期フィールド実習	4
14	赤羽根 有里子	金	1	1T	保育内容演習「言葉」Ⅱ	35
15	赤羽根 有里子	金	3	1S	保育内容演習「言葉」Ⅱ	35
16	赤羽根 有里子	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	6
17	赤羽根 有里子	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	5
18	赤羽根 有里子	木	23	4ST	保育・教職実践演習（幼）	63
19	赤羽根 有里子				卒業研究	5
20	上 田 信 道	火	3	1ST	文章表現法	36
21	上 田 信 道	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	4
22	上 田 信 道	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	3
23	上 田 信 道				卒業研究	3
24	小川・北浦・佐部利・堀	火	1	1S	基礎音楽Ⅱ	34
25	小川・北浦・佐部利・堀	火	2	1T	基礎音楽Ⅱ	42
26	小川・麓	金	4	3S	幼児音楽Ⅱ	39
27	小川・麓	金	5	3T	幼児音楽Ⅱ	38
28	小 川 宜 子	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	4
29	小 川 宜 子				卒業研究	4
30	小 野 隆	月	1	2ST	保健体育講義	57
31	小 野 隆	月	3	2ST	体育実技Ⅱ	36
32	小 野 隆	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	5
33	小 野 隆	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	3
34	小 野 隆				卒業研究	3
35	小 原 倫 子	月	1	1S	教育と発達の心理学Ⅱ	34
36	小 原 倫 子	金	4	1T	教育と発達の心理学Ⅱ	35
37	小 原 倫 子	金	3	3T	教育・保育相談	41
38	小 原 倫 子	金	5	3S	教育・保育相談	41
39	小 原 倫 子	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	5
40	小 原 倫 子	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	4
41	小 原 倫 子				卒業研究	4
42	岸 本 美 紀	火	3	3S	教育実習指導Ⅱ	43
43	岸 本 美 紀	火	4	3T	教育実習指導Ⅱ	40
44	岸 本 美 紀	金	1	3T	保育実習指導Ⅱ	37
45	岸 本 美 紀	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	5
46	岸 本 美 紀	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	1
47	岸 本 美 紀				長期フィールド実習	1
48	北浦・佐藤・西濱・原田	木	3	2S	基礎音楽Ⅳ	16

平成28年度 授業アンケート実施一覧（大学後期）

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
49	北 浦 恒 人	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	7
50	北 浦 恒 人	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	5
51	北 浦 恒 人				卒業研究	5
52	佐 善 圭	月	3	1T	造形Ⅱ	35
53	佐 善 圭	月	4	1S	造形Ⅱ	34
54	佐 善 圭	金	4	2T	造形Ⅳ	21
55	佐 善 圭	金	5	2S	造形Ⅳ	9
56	佐 善 圭	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	7
57	佐 善 圭	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	7
58	佐 善 圭				卒業研究	7
59	白 石 さ や	木	2	2ST3ST	現代文化人類学	3
60	白 石 さ や	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	4
61	白 石 さ や	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	5
62	白 石 さ や				卒業研究	5
63	鈴 木 方 子	金	2	1S	乳児保育Ⅱ	34
64	鈴 木 方 子	金	3	1T	乳児保育Ⅱ	35
65	鈴 木 方 子	金	1	3S	保育実習指導Ⅱ	33
66	鈴 木 方 子	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	5
67	鈴 木 方 子	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	5
68	鈴 木 方 子				長期フィールド実習	5
69	鈴 木 方 子	木	23	4ST	保育・教職実践演習（幼）	63
70	仲 田 勝 美	金	1	2ST	高齢社会と福祉	56
71	仲 田 勝 美	月	4	2T	介護技術演習	23
72	仲 田 勝 美	月	5	2S	介護技術演習	15
73	仲 田 勝 美	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	1
74	仲 田 勝 美	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	3
75	仲 田 勝 美				卒業研究	3
76	中 田 基 昭	火	4	1ST	女性の生き方	70
77	中 田 基 昭	火	5	2ST	教育人間学	58
78	中 田 基 昭	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	7
79	中 田 基 昭	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	5
80	中 田 基 昭				卒業研究	5
81	吉 村 譲	木	5	3ST	保育実習指導Ⅲ	12
82	吉 村 譲	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	5
83	吉 村 譲	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	5
84	吉 村 譲				長期フィールド実習	
85	権 法 珠	金	1	2ST	高齢社会と福祉	56
86	権 法 珠	木	1	2ST	相談援助Ⅱ	25
87	権 法 珠	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	5
88	権 法 珠	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	5
89	権 法 珠				卒業研究	5
90	白 垣 潤	火	3	3T	障がい児保育Ⅱ	40
91	白 垣 潤	火	4	3S	障がい児保育Ⅱ	41
92	白 垣 潤	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	5
93	山 田 光 治	月	4	2S	社会的養護内容	29
94	山 田 光 治	月	5	2T	社会的養護内容	28
95	鈴 木 恒 一	木	3	1T	保育内容演習「健康」Ⅱ	36
96	鈴 木 恒 一	木	4	1S	保育内容演習「健康」Ⅱ	35
97	山 下 晋	木	3	1S	幼児体育Ⅱ	34
98	山 下 晋	金	2	1T	幼児体育Ⅱ	35

平成28年度 授業アンケート実施一覧（大学後期）

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
99	平 尾 憲 嗣	金	3	2S	声楽Ⅱ	8
100	山 田 悠 莉	月	1	1T	舞台表現の技術	15
101	市 原 潔	月	2	1ST2ST	数学の基礎	41
102	町 田 由 徳	火	1	3ST	情報メディアと表現	25
103	松 井 千 代	火	1	1T	英語総合（初級）	17
104	日野水 憲	金	4	1S	英語総合（初級）	16
105	日野水 憲	金	2	2ST3ST4ST	英語総合（発展）	10
106	花 田 経 子	火	2	1S	情報処理Ⅱ	35
107	花 田 経 子	木	4	1T	情報処理Ⅱ	35
108	花 田 経 子	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	7
109	遠 藤 幸 子	火	1	2ST	子どもの保健Ⅱ	58
110	遠 藤 幸 子	木	3	2T	子どもの保健演習	28
111	遠 藤 幸 子	木	4	2S	子どもの保健演習	29
112	岡 本 伸 子	月	3	1S	コミュニケーション演習	18
113	岡 本 伸 子	月	4	1T	コミュニケーション演習	25
114	岡 本 伸 子	月	2	3S	舞台表現の技術	11
115	加 藤 早 苗	水	1	2T	保育内容演習「人間関係」Ⅱ	24
116	加 藤 早 苗	水	2	2ST	保育内容演習「人間関係」Ⅱ	30
117	金 子 一 元	水	2	3ST	ストーリー創作の研究	51
118	金 子 佳 代	月	2	3T	家庭支援演習	1
119	金 子 佳 代	月	3	3S	家庭支援演習	2
120	虞 萍	金	2	2ST3ST4ST	中国語（初級）	19
121	小笠原 昇一	木	2	2ST3ST	生命の科学	8
122	久保原 信 司	火	5	3ST4ST	ポルトガル語（初級）	9
123	久保原 信 司	火	4	2ST	多文化共生論	4
124	齊 藤 安 潔	月	2	1ST2ST	倫理学	11
125	武 田 康 代	水	1	2S	子どもの食と栄養Ⅱ	29
126	武 田 康 代	水	2	2T	子どもの食と栄養Ⅱ	27
127	野 田 麻 理	火	4	1ST2ST	女性の生き方	70
128	服 部 次 郎	木	2	1ST	社会福祉論	70
129	服 部 次 郎	木	1	2ST	相談援助Ⅱ	70
130	安 林 奈緒美	月	2	1ST2ST	社会学	10
131	山内・佐藤・西濱・原田	木	4	2T	基礎音楽Ⅳ	13
132	エドワード・バンダーアール	火	2	2ST3ST4ST	オーラル・イングリッシュ（中級）	16
133	金 昭 鉄	木	1	3ST4ST	韓国語（初級）	6
134	本 山 益 子	金	3	3S	保育内容演習「表現」Ⅱ	18
135	本 山 益 子	金	4	3T	保育内容演習「表現」Ⅱ	16
136	大 野 久美子	金	4	2S	保育内容演習「環境」Ⅱ	30
137	大 野 久美子	金	5	2T	保育内容演習「環境」Ⅱ	20

平成28年度 授業アンケート実施一覧（短大後期）

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
1	山田 光 治	木	1	2G	保育実習指導Ⅰ	40
2	山田 光 治	木	2	2A	保育カウンセリング	46
3	鳥居 恵 治	火	1	1G	子どもの研究	44
4	鳥居 恵 治	月	2	2E	幼児体育Ⅱ	42
5	鳥居 恵 治	火	2	2CD	健康とスポーツ（講義）	87
6	鳥居 恵 治	水	1	3EG	健康とスポーツ（講義）	80
7	鳥居 恵 治	金	3	1B	幼児体育Ⅱ	42
8	鳥居 恵 治	金	4	2AB	健康とスポーツ（講義）	93
9	鈴木 恒 一	火	4	2C	保育内容演習（環境）	42
10	鈴木 恒 一	水	2	2B	保育内容演習（環境）	43
11	鈴木 恒 一	金	12	2A	教育実習（事前・事後指導を含む。）	47
12	鈴木 恒 一	金	12	2B	教育実習（事前・事後指導を含む。）	48
13	鈴木 恒 一	火	2	2G	子どもの研究Ⅰ	41
14	梅下 弘 樹	火	3	2A	障害児保育Ⅱ	47
15	梅下 弘 樹	火	4	1C	保育表現演習	43
16	梅下 弘 樹	木	3	2B	保育カウンセリング	46
17	梅下 弘 樹	木	4	2D	保育カウンセリング	45
18	梅下 弘 樹	金	2	2E	障害児保育Ⅱ	42
19	鈴木 穂 波	火	1	1CD	児童文学	25
20	鈴木 穂 波	水	2	2D	児童文化演習Ⅱ	48
21	鈴木 穂 波	木	1	2A	児童文化演習Ⅱ	47
22	鈴木 穂 波	木	2	2C	児童文化演習Ⅱ	43
23	鈴木 穂 波	木	4	2B	児童文化演習Ⅱ	43
24	鈴木 穂 波	金	3	1A	保育表現演習	43
25	妹尾 美智子	火	2	1B	保育表現演習	42
26	妹尾・滝沢	火	3	1C	基礎音楽Ⅱ	43
27	妹尾・小野隆	金	1	2E	幼児音楽Ⅱ	42
28	妹尾・小野隆	金	2	2G	幼児音楽Ⅱ	41
29	滝沢・平尾	火	4	1D	基礎音楽Ⅱ	44
30	滝沢・本田	水	2	2A	幼児音楽Ⅱ	47
31	滝沢・堀	金	3	2C	幼児音楽Ⅱ	42
32	野田 美 樹	月	1	2G	保育実習指導Ⅰ	40
33	野田 美 樹	火	2	1D	保育実習指導Ⅰ	44
34	野田 美 樹	水	1	1CD	保育課程論	87
35	野田 美 樹	水	2	1AB	保育課程論	85
36	野田・平尾・米窪	金	12	3EG	教職実践演習（幼稚園）	81
37	野田 美 樹	金	4	1C	保育実習指導Ⅰ	43
38	平尾・山内	月	1	1G	基礎音楽Ⅱ	44
39	平尾・原田	月	4	1A	基礎音楽Ⅱ	43
40	真 木 弘	月	1	2MP	健康とスポーツ（講義）	31
41	真 木 弘	月	4	1MP	スポーツ実技Ⅰ	44
42	真 木 弘	水	2	2MP	健康とスポーツ（実技）Ⅱ	27
43	山下 晋	火	1	2G	幼児体育Ⅱ	41
44	山下・山田悠	水	1	2ABCD	健康とスポーツ（演習）	4
45	山下 晋	木	2	2E	保育表現演習	42
46	山下 晋	金	4	1D	幼児体育Ⅱ	44
47	山田 悠 莉	木	1	1A	パフォーミングボディ	43
48	山田 悠 莉	木	2	1C	パフォーミングボディ	43
49	横田 典 子	木	1	2E	子どもの研究Ⅰ	42
50	横田 典 子	木	3	1D	幼児造形Ⅰ	44
51	横田 典 子	木	4	1B	幼児造形Ⅰ	42

平成28年度 授業アンケート実施一覧（短大後期）

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
52	横 田 典 子	金	3	1C	幼児造形 I	43
53	米 窪 洋 介	月	3	1A	幼児造形 I	44
54	米 窪 洋 介	火	1	1E	幼児造形 I	43
55	米 窪 洋 介	火	2	1G	幼児造形 I	44
56	渡 部 努	月	1	1AB	指導法の研究	87
57	渡 部 努	月	3	1CD	指導法の研究	87
58	渡 部 努	月	4	1B	保育実習指導 I	42
59	渡部・横田・滝沢・山田悠	金	12	2ABCD	教職実践演習（幼稚園）	180
60	渡 部 努	金	4	1A	保育実習指導 I	43
61	渡 部 努	土	1	2E	保育実習指導 I	42
62	丸 山 笑里佳	火	1	1AB	幼児理解の理論と方法	85
63	丸 山 笑里佳	火	2	1E	子どもの研究 I	43
64	丸 山 笑里佳	水	1	1AB	発達と教育の心理学	85
65	丸 山 笑里佳	水	2	1CD	発達と教育の心理学	87
66	丸 山 笑里佳	木	4	2C	保育カウンセリング	43
67	丸 山 笑里佳	土	1	1EG	幼児理解の理論と方法	89
68	丸 山 笑里佳	土	2	1EG	発達と教育の心理学	87
69	市 原 潔	月	3	2MP	情報処理 II	18
70	市 原 潔	火	3	1MP	経営実務演習 I	53
71	市 原 潔	火	4	1MP	現代ビジネスゼミナール	53
72	市 原 潔	木	2	2MP	専門ゼミナール III	9
73	市 原 潔	木	3	1MP	専門ゼミナール I	2
74	市 原 潔	木	5	2MP	図書館情報技術論	13
75	河 合 晋	月	4	2MP	上級簿記 II	9
76	河 合 晋	水	1	1P	簿記原理 II	26
77	河 合 晋	水	2	1M	簿記原理 II	24
78	河 合 晋	木	2	2MP	専門ゼミナール III	17
79	河 合 晋	木	3	1MP	専門ゼミナール I	15
80	河 合 晋	木	4	1MP	簿記検定講座 II	37
81	黒 野 伸 子	火	1	1MP	医事法制	27
82	黒 野 伸 子	火	3	2MP	診療報酬資格講座	20
83	黒 野 伸 子	火	4	2MP	医療管理学概論	20
84	黒 野 伸 子	木	2	2MP	専門ゼミナール III	17
85	黒 野 伸 子	木	3	1MP	専門ゼミナール I	19
86	黒 野 伸 子	金	2	1MP	診療報酬請求論 II	28
87	黒 野 伸 子	金	3	1MP	診療報酬請求実務 I	28
88	笹 瀬 佐代子	金	1	2MP	ライフとワーク	6
89	笹 瀬 佐代子	土	1	2G	保育表現演習	41
90	日野水 憲	木	2	1MP	外国語コミュニケーション II	35
91	日野水 憲	木	3	2MP	外国語コミュニケーション II	15
92	祝 田 学	月	1	1MP	マーケティング・リサーチ	32
93	祝 田 学	月	1	2MP	経営情報	29
94	祝 田 学	火	1	1MP	経営戦略	24
95	祝 田 学	火	2	2MP	経営史	19
96	祝 田 学	火	4	1MP	現代ビジネスゼミナール	53
97	祝 田 学	木	2	2MP	専門ゼミナール III	8
98	祝 田 学	木	3	1MP	専門ゼミナール I	9
99	町 田 由 徳	火	3	1MP	経営実務演習 I	53
100	町 田 由 徳	木	1	1MP	C A D オペレーション I	28
101	町 田 由 徳	木	2	2MP	専門ゼミナール III	9



平成28年度 授業アンケート実施一覧 (短大後期)

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
102	町田 由徳	木	3	1MP	専門ゼミナールⅠ	8
103	町田 由徳	金	1	1MP	ユニバーサルデザイン	17
104	町田 由徳	金	3	2MP	住空間・インテリアデザイン論	16
105	築山 高彦	月	1	2E	保育実習指導Ⅰ	42
106	築山 高彦	月	2	1C	保育実習指導Ⅰ	43
107	築山 高彦	水	2	2C	相談援助	42
108	築山 高彦	金	3	2D	社会的養護内容	45
109	西川 由美子	月	2	2D	保育内容演習(環境)	51
110	西川 由美子	金	12	2CD	教育実習(事前・事後指導を含む。)	87
111	松井 千代	火	2	1A	外国語コミュニケーションⅡ	43
112	松井 千代	木	1	2E	子どもの研究Ⅰ	42
113	松井 千代	金	2	2MP	観光英語	17
114	松井 千代	金	3	1D	保育表現演習	44
115	松井 千代	金	5	1C	外国語コミュニケーションⅡ	44
116	後藤 直美	水	1	1G	教育実習(事前・事後指導を含む。)	44
117	後藤 直美	水	2	1E	教育実習(事前・事後指導を含む。)	43
118	後藤 直美	木	4	2A	保育内容演習(環境)	45
119	鈴木 仁人	火	2	1MP	文章表現応用	53
120	鈴木 仁人	金	1	1ABCD	日本語表現	44
121	鈴木 仁人	金	2	1ABCD	日本語表現	43
122	上田 信道	火	5	1AB	児童文学	10
123	小野 隆	木	5	1ABCD	レクリエーション概論	45
124	権 法珠	火	1	2E	相談援助	42
125	権 法珠	火	3	2B	相談援助	46
126	権 法珠	火	4	2D	相談援助	45
127	権 法珠	木	2	1A	保育実習指導Ⅰ	43
128	白垣 潤	木	3	2C	障害児保育Ⅱ	42
129	白垣 潤	金	1	2G	障害児保育Ⅱ	41
130	小原 倫子	月	4	1CD	幼児理解の理論と方法	87
131	仲田 勝美	月	2	2G	相談援助	41
132	仲田 勝美	木	2	1B	保育実習指導Ⅰ	42
133	仲田 勝美	木	3	2A	相談援助	47
134	吉村 譲	金	3	2B	保育相談支援	47
135	吉村 譲	金	4	2D	保育相談支援	45
136	吉村 譲	金	5	1D	保育実習指導Ⅰ	44
137	花田 経子	火	3	1D	情報基礎演習Ⅱ	44
138	花田 経子	火	4	1B	情報基礎演習Ⅱ	42
139	大倉 健太郎	火	3	2CD	教育制度・政策論	87
140	大倉 健太郎	火	4	2AB	教育制度・政策論	93
141	大倉 健太郎	水	2	3EG	教育方法論	80
142	大倉 健太郎	木	1	1EG	保育者論	87
143	大倉 健太郎	木	3	1AB	教育原理	85
144	大倉 健太郎	木	4	2CD	教育原理	91
145	青山 弘	水	4	1MP2MP	情報資源組織論	26
146	青山 弘	水	5	1MP2MP	図書館情報資源概論	23
147	池 和子	木	1	1B	外国語コミュニケーションⅡ	42
148	池 和子	木	2	1D	外国語コミュニケーションⅡ	43
149	石川 澄江	火	5	2M	医療コンピュータ演習	10
150	石川 澄江	木	1	2P	医療コンピュータ演習	11
151	市川・山内	月	2	1E	基礎音楽Ⅱ	43

平成28年度 授業アンケート実施一覧（短大後期）

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
152	市川・原田	月	3	1B	基礎音楽Ⅱ	42
153	市川・本田	木	1	2B	幼児音楽Ⅱ	46
154	市川・本田	木	2	2D	幼児音楽Ⅱ	46
155	岩 田 愛	木	1	3EG	女性の自立と人権	81
156	遠 藤 幸 子	火	2	2AB	子どもの保健Ⅱ	94
157	太 田 二 郎	月	2	1AB	家庭支援論	86
158	太 田 二 郎	月	3	2C	保育相談支援	42
159	太 田 二 郎	月	4	2A	保育相談支援	47
160	太 田 富士子	水	1	1E	乳児保育Ⅱ	43
161	太 田 富士子	水	2	1G	乳児保育Ⅱ	44
162	岡 本 純	土	1	2MP	商品学	6
163	川 口 勇 作	月	1	1E	情報基礎演習Ⅱ	43
164	川 口 勇 作	月	2	1G	情報基礎演習Ⅱ	45
165	川 口 勇 作	火	1	2MP	生活と統計	7
166	竹 内 典 夫	金	1	1ABCD	日本国憲法	41
167	竹 内 典 夫	金	2	1ABCD	日本国憲法	43
168	竹 内 典 夫	土	2	2EG	日本国憲法	83
169	田 中 秀 吉	火	1	3E	子どもの食と栄養Ⅱ	42
170	田 中 秀 吉	火	2	3G	子どもの食と栄養Ⅱ	38
171	戸 谷 百合子	木	1	2CD	子どもの保健Ⅱ	87
172	鳥 当 法 子	木	2	2B	子どもの食と栄養Ⅱ	46
173	鳥 当 法 子	木	3	2D	子どもの食と栄養Ⅱ	45
174	中 田 伸 江	火	2	1C	幼児体育Ⅱ	43
175	中 田 伸 江	火	3	1A	幼児体育Ⅱ	43
176	野 田 耕 平	月	2	1M	情報基礎演習Ⅱ	26
177	野 田 耕 平	月	3	1P	情報基礎演習Ⅱ	26
178	平 岩 ふみよ	月	3	2D	障害児保育Ⅱ	45
179	平 岩 ふみよ	月	4	2B	障害児保育Ⅱ	46
180	細 江 逸 雄	火	1	3G	保育相談支援	38
181	細 江 逸 雄	火	2	3E	保育相談支援	41
182	細 江 逸 雄	木	1	1CD	家庭支援論	87
183	細 江 逸 雄	木	2	3EG	家庭支援論	79
184	松 下 幸 子	火	3	1B	乳児保育Ⅱ	45
185	松 下 幸 子	火	4	1A	乳児保育Ⅱ	43
186	松 本 亜 実	木	3	1C	情報基礎演習Ⅱ	43
187	松 本 亜 実	木	4	1A	情報基礎演習Ⅱ	43
188	熊 崎 稔 子	月	2	2C	子どもの食と栄養Ⅱ	42
189	熊 崎 稔 子	月	3	2A	子どもの食と栄養Ⅱ	47
190	山 崎 千恵子	火	2	2E	保育内容演習（人間関係）	42
191	山 崎 千恵子	木	2	2G	保育内容演習（人間関係）	42

平成28年度 授業アンケート実施一覧(短大後期)

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
192	山 田 千穂子	水	1	1M	秘書実務	29
193	山 田 千穂子	水	2	1P	秘書実務	26
194	飛 石 眞理子	土	1	1MP2MP	情報サービス演習	22
195	飛 石 眞理子	土	2	2MP	情報サービス論	12
196	エドワード・バンダーア	火	1	2ABCD	英語Ⅱ	4
197	河 合 悦 子	月	1	1C	乳児保育Ⅱ	43
198	河 合 悦 子	月	2	1D	乳児保育Ⅱ	44
199	竹 内 美 都	月	1	3E	外国語コミュニケーションⅡ	42
200	竹 内 美 都	月	2	3G	外国語コミュニケーションⅡ	38
201	井 上 美喜子	木	2	1EG	保育課程論	87
203	岡 田 良 美	水	2	2EG	子どもの保健Ⅱ	83
204	桂 安 治	木	4	2MP	金融論	24
205	蜷 沢 光	月	1	3G	社会的養護内容	38
206	蜷 沢 光	月	2	3E	社会的養護内容	40
207	蜷 沢 光	月	3	2B	社会的養護内容	47
208	小 塚 光 夫	金	2	1EG	児童家庭福祉	87
209	小 塚 光 夫	金	3	2A	社会的養護内容	48
210	小 塚 光 夫	金	4	2C	社会的養護内容	42

## 2016年度後期 学生による授業アンケート集計結果

### 全体集計（大学）

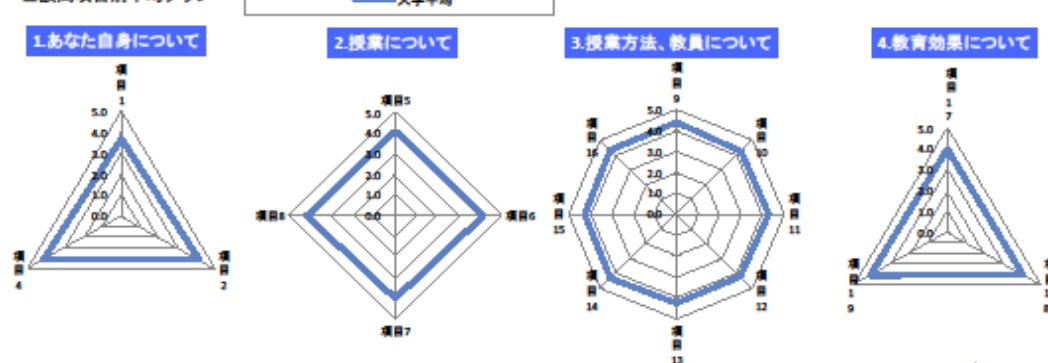
■ 受講者数 2,778名  
■ 回答者数 2,485名  
■ 回答率 88.7%

※無回答・重複回答は集計対象外

大項目	項目	大学平均	肯定回答率	⑤ そう思う	④ 少し思う	割合 い③ えな らとも	② あまり 思わ	① そう 思わ	⑤ そう 思う	④ 少し 思う	割合 い③ えな らとも	② あまり 思わ	① そう 思わ	合計	
1 あなた自身について	1 あなたは、授業内容(シラバス)を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	3.72	57.4%	24.0%	33.4%	35.4%	4.8%	2.5%	592	822	873	114	62	2,463	
	2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.20	77.9%	45.4%	32.6%	19.6%	1.9%	0.6%	1,117	802	482	47	15	2,463	
	3 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした平均時間※	-	-	4.0%	4.2%	14.1%	30.7%	47.1%	98	102	348	752	1,155	2,453	
	4 あなたは、授業中のマナーを守ることができましたか。	4.19	76.9%	46.2%	30.7%	19.0%	3.5%	0.5%	1,138	756	469	86	13	2,462	
2 授業について	5 授業内容(シラバス)や教員の事前の説明は言葉、内容、評価方法を申し、分かりやすいものでしたか。	4.12	74.5%	40.3%	34.2%	23.2%	1.7%	0.6%	993	842	571	42	16	2,464	
	6 この授業は、授業内容(シラバス)または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか。	4.16	75.5%	43.0%	32.5%	22.9%	1.2%	0.4%	1,058	800	564	30	10	2,462	
	7 課題の内容や量は適切でしたか。	4.01	68.9%	39.2%	29.8%	25.7%	4.0%	1.4%	964	733	632	98	35	2,462	
	8 授業内容の難易度は適切でしたか。	4.18	-	5.4%	23.2%	68.6%	2.1%	0.6%	133	572	1,891	52	16	2,464	
3 授業方法、教員について	9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.41	86.7%	56.6%	30.1%	11.8%	1.0%	0.4%	1,395	742	291	25	11	2,464	
	10 教員の説明は分かりやすかったですか。	4.28	80.1%	51.4%	28.7%	15.3%	3.5%	1.1%	1,266	708	377	85	27	2,463	
	11 教員の話し方(声の大きさ、話す速さ、メリハリ等)は適切でしたか。	4.29	81.3%	53.1%	28.2%	14.7%	3.1%	0.9%	1,308	695	361	76	23	2,463	
	12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト(パワーポイント等)などの使い方は適切でしたか。	4.20	77.3%	48.3%	29.0%	18.7%	3.1%	1.0%	1,189	715	480	76	24	2,464	
	13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	4.28	78.9%	51.6%	27.3%	17.6%	3.0%	0.8%	1,271	673	431	73	15	2,463	
	14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	4.34	81.8%	55.5%	26.3%	15.9%	1.8%	0.8%	1,366	649	392	40	16	2,463	
	15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	4.28	79.0%	52.0%	27.0%	16.6%	1.9%	0.5%	1,282	665	458	47	12	2,464	
	16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	4.36	81.4%	56.9%	24.5%	16.5%	1.4%	0.7%	1,401	604	406	34	17	2,482	
4 教育効果について	17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	4.02	72.5%	32.4%	40.1%	24.8%	2.1%	0.8%	797	987	610	52	15	2,461	
	18 授業により知的に勉勵され、さらに深く勉強したくなりましたか。	4.09	74.1%	39.9%	34.3%	22.1%	2.9%	0.9%	980	843	543	71	22	2,459	
	19 授業は全体として満足できるものでしたか。	4.20	77.4%	46.2%	31.2%	20.0%	1.7%	0.9%	1,136	767	492	43	21	2,459	

※項目3は⑤4時間以上、④3時間、③2時間、②1時間、①30分以下、項目8は⑤非常に難しい、④難しい、③適切、②やさしい、①非常にやさしい  
平均:「⑤そう思う」「③適切」を5点、「④少し思う」「⑤非常に難しい」を4点、「③どちらともいえない」「②やさしい」を3点、「②あまり思わない」「④難しい」を2点、「①そう思わない」「①非常にやさしい」を1点として加重平均

■ 設問項目別平均グラフ



## 2016年度後期 学生による授業アンケート集計結果

### 全体集計（短大）

■ 受講者数 9,078名  
■ 回答者数 8,257名  
■ 回答率 91.0%

※無回答・重複回答は集計対象外

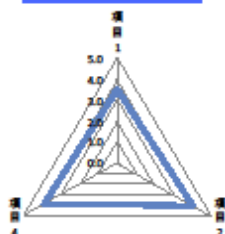
大項目	項目	短大平均	肯定回答率	⑤ そう思う	④ 少し思う	割合 い③ えな らと も	② あまり 思わ ない	① そう 思わ ない	⑤ そう 思う	④ 少し 思う	割合 い③ えな らと も	② あまり 思わ ない	① そう 思わ ない	合計	
1 あなた自身について	1 あなたは、授業内容(シラバス)を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	3.64	49.1%	18.6%	30.5%	40.7%	6.3%	3.8%	1,534	2,520	3,363	524	313	8,254	
	2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.07	72.2%	37.9%	34.4%	25.2%	2.0%	0.8%	3,124	2,832	2,077	185	46	8,244	
	3 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした平均時間※	-	-	4.5%	4.4%	14.7%	21.6%	54.7%	374	366	1,206	1,776	4,503	8,225	
	4 あなたは、授業中のマナーを守ることができましたか。	3.95	65.6%	34.8%	30.6%	29.8%	3.9%	0.8%	2,867	2,537	2,456	320	63	8,243	
2 授業について	5 授業内容(シラバス)や教員の事前の説明は言葉、内容、評価方法を申し、分かりやすいものでしたか。	3.93	66.5%	30.8%	35.7%	30.2%	2.5%	0.8%	2,544	2,946	2,492	208	64	8,254	
	6 この授業は、授業内容(シラバス)または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか。	4.02	69.6%	34.8%	34.6%	28.1%	1.7%	0.5%	2,875	2,868	2,321	144	45	8,253	
	7 課題の内容や量は適切でしたか。	3.92	63.9%	33.8%	30.1%	31.0%	4.0%	1.1%	2,787	2,482	2,558	331	88	8,246	
	8 授業内容の難易度は適切でしたか。	4.21	-	6.0%	20.6%	69.0%	3.0%	1.2%	497	1,710	5,678	248	100	8,233	
3 授業方法、教員について	9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.28	81.3%	49.2%	32.1%	16.7%	1.6%	0.4%	4,051	2,647	1,379	133	32	8,242	
	10 教員の説明は分かりやすかったですか。	4.11	74.7%	43.7%	31.0%	19.4%	4.5%	1.4%	3,602	2,553	1,595	370	117	8,237	
	11 教員の話し方(声の大きさ、話す速さ、メリハリ等)は適切でしたか。	4.16	75.8%	45.6%	30.2%	19.6%	3.6%	1.0%	3,753	2,489	1,613	295	85	8,235	
	12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト(パワーポイント等)などの使い方は適切でしたか。	4.10	73.1%	42.5%	30.7%	22.3%	3.5%	1.1%	3,499	2,525	1,838	287	88	8,237	
	13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	4.06	70.4%	40.5%	29.9%	25.7%	3.0%	0.8%	3,339	2,466	2,117	248	70	8,240	
	14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	4.17	75.4%	45.1%	30.3%	21.8%	2.2%	0.8%	3,719	2,495	1,797	181	46	8,238	
	15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	4.11	72.3%	42.4%	29.9%	24.7%	2.6%	0.4%	3,482	2,462	2,031	218	36	8,239	
	16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	4.23	76.8%	48.6%	28.2%	21.1%	1.6%	0.5%	4,000	2,324	1,739	132	38	8,233	
4 授業効果について	17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	3.95	68.1%	29.4%	36.7%	29.4%	2.0%	0.5%	2,415	3,186	2,422	183	39	8,225	
	18 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなりましたか。	4.01	69.9%	35.6%	34.1%	26.5%	2.7%	0.8%	2,942	2,807	2,181	226	66	8,222	
	19 授業は全体として満足できるものでしたか。	4.09	73.2%	39.5%	33.6%	24.0%	2.1%	0.7%	3,248	2,766	1,974	174	58	8,220	

※項目3は⑤4時間以上、④3時間、③2時間、②1時間、①30分以下、項目8は⑤非常に難しい、④難しい、③適切、②やさしい、①非常にやさしい

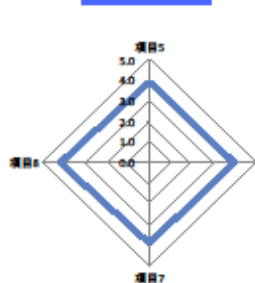
平均：「⑤そう思う」「③適切」を5点、「④少し思う」「⑤非常に難しい」を4点、「③どちらともいえない」「②やさしい」を3点、「②あまり思わない」「④難しい」を2点、「①そう思わない」「①非常にやさしい」を1点として加重平均

■ 設問項目別平均グラフ

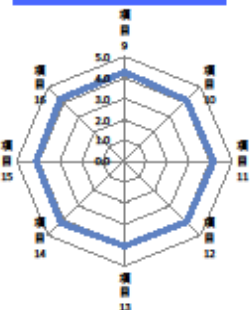
1. あなた自身について



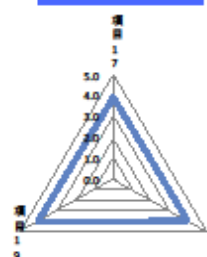
2. 授業について



3. 授業方法、教員について



4. 教育効果について



【授業アンケートによる自己点検報告書】(平成28年度後期)

所 属 学 科		教 員 氏 名	
授 業 科 目 名		授 業 形 態	講義 演習 実習 実技 その他
学 年	年	ク ラ ス	
<p align="center"><b>【授業アンケートによる自己点検内容】</b></p> <p>前回のアンケート結果を受けて、今年度新たに①“改善を試みた点”、今回の授業アンケート結果から、②“優れていた点” および③“改善すべき点”を中心に記入してください。</p>			
①			
②			
③			
<p>総合評価として、当てはまるものに○を付けてください。</p> <p>あなたは、この授業のシラバスに記載した到達目標を学生に達成させることができましたか。</p> <p>5 できた    4 ある程度できた    3 どちらともいえない    2 あまりできなかった    1 できなかった</p>			

## 4. F D 研修会関係

平成 2 8 年度は計 3 回の F D 研修会を開催した。

実施日と主な内容や実施した成果を示す資料を次頁以降に掲載する。

なお、各研修・勉強会の参加人数は以下の通りであった。

(非常勤講師も含む。)

第 1 回研修会 ( 1 0 月 1 9 日 )      5 3 名

第 2 回研修会 ( 1 2 月 2 1 日 )      5 2 名

第 3 回研修会 (   3 月   1 日 )      5 2 名



平成28年7月20日

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 教員各位

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学  
学 長 長 柄 孝 彦

平成28年度FD研修会について（ご案内）

平素はFD委員会の活動にご理解賜り、ありがとうございます。

下記のとおり、平成28年度FD研修会を開催いたします。ご多忙とは存じますが、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 : 第1回 平成28年10月19日（水） 13:10～14:10  
第2回 平成28年12月21日（水） 13:10～14:10  
第3回 平成29年2月下旬（決定次第、ご連絡いたします）  
※10月19日・12月21日の「教職員連絡会」は14:15～の開催となります。
- 2 場 所 : 第1回 ラーニングプラザ  
第2回 ラーニングプラザ  
第3回 6212 教室
- 3 内 容 : 第1回  
「学生アンケートの結果と活用について」（授業アンケート WG）  
「授業公開の結果と活用について」（授業公開 WG）  
第2回  
「本学の ICT 利用促進について」（ICT 利用促進 WG）  
「授業評価の厳格化について」（研修会 WG）  
第3回  
「初年次教育とアクティブ・ラーニング（仮）」  
講師未定（決定次第、ご連絡いたします）  
※研修の内容は変更されることがあります。

【問い合わせ先】

FD 研修会 WG	河合	(内線 6301)
教務課	神谷（雅）	(内線 2024)

以上



平成 28 年 10 月 5 日

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 教員各位

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学  
学長 長柄 孝彦

### 平成 28 年度第 1 回 F D 研修会について（ご案内）

平素は F D 研修会の活動にご理解賜り、感謝申し上げます。

すでにご案内させていただいていますが、下記のとおり、平成 28 年度第 1 回 F D 研修会を開催いたします。ご多忙とは存じますが、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

#### 記

1. 日 時 平成 28 年 10 月 19 日（水） 13：10～14：10（60 分間）  
※教職員連絡会は 14：15～の開催となります。
2. 場 所 ラーニングプラザ
3. 内 容 「アクティブ・ラーニングの取組みと課題」  
①授業アンケート WG 報告（15 分間）  
  
②授業公開 WG 報告（15 分間）  
  
③グループワーク（30 分間）  
アクティブ・ラーニングの取組みの紹介  
アクティブ・ラーニングの課題に関する意見交換  
グループ発表
4. 対 象 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学教職員・非常勤講師
5. その他 第 2 回 F D 研修会 平成 28 年 12 月 21 日（水）13：10～14：10  
「新たに導入する教務システムの概要」「成績評価の厳格化」  
第 3 回 F D 研修会 平成 29 年 3 月 1 日（水）14：50～16：20  
「初年次教育とアクティブ・ラーニング（仮）」（講演）  
講師 北九州市立大学准教授 見館好隆先生

平成 27 年 11 月 18 日

FD 委員会・FD 研修会担当

## 授業改善についての検討 ―FD 研修会におけるグループワーク報告―（速報）

### [授業の改善点について検討結果]

#### 「1. あなたは授業内容を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。」

- ・ シラバスのところだけが 3 点台。
- ・ [改善策] 文の改正「事前に」。
- ・ シラバス、四大⇄短大 同じ内容だが厳しめの評価という印象
- ・ シラバスが課題だという意見が多かった。
- ・ 「シラバスとは何か」分かっているのか？
- ・ 初回の説明が必要。
- ・ シラバスと受講上の注意（ルール）を印刷して配付している。学生の手元にも残り、授業の到達、目標が明確。
- ・ 教務ガイダンスにおいて学生にシラバスの必要性、重要性などを伝える。また、授業開始後も定期的（3～5回）にシラバスを読み、理解を深めるよう指導する。このことで、学生の予習、復習へと繋げていく。
- ・ 選択科目について実際に活用されているのか？

#### 「2. あなたはこの授業に積極的に参加しました。」

- \* 態度と意欲が違う学生に、受け身な学生に対して
- ・ 学生に発信させる（質問ノート）アクティブさせることとコントロールすること。
- ・ コントロールが難しくなる。
- ・ 課題をうまく設定させ、見通しをつけさせるといいと思う。仕掛けは周到に。

#### 「3. この授業 1 回（90 分）のための予習・復習に費やした平均時間」

- ・ 宿題を課すことにより、この項目数値は高まるであろうが、工夫しないと授業の満足度などの項目は低下してしまう可能性がある。
- ・ 宿題を課す回数が 3～4 回で、この項目に対して効果が上がるかは、疑問でもある。

**「4. あなたは授業中のマナーを守ることができましたか。」**

- ・ 私語をしている→注意することをプラスに評価する学生と先生が注意すると授業が進行しないと否定的に捉える学生がいるがどうするか？
- ・ 携帯をいじっている→注意する、取り上げる。
- ・ 授業にふさわしくない学生の行動とはどのようなものか？の考え方によって幅があるので、事前に考え方を統一しておいた方がよいのではないか？

**「7. 課題の内容や量は適切でしたか。」**

- ・ 活動の到達目標を明確にする工夫は？  
フィードバックを工夫することが大切。質問を書かせる→コメントを必ず入れる。ハンコだけでも。達成度が見える（大変な作業なので科目は絞っている）返却時に声をかける。
- ・ モチベーションを上げるのにコメントは効果がある。
- ・ 最後の授業で振り返りを言うのは？
- ・ 中間的な評価があった方が良いのかも？
- ・ 点数や評価も見える数字などで表してあげても良いのかも？

**「8. 授業内容の難易度は適切でしたか。」**

- ・ 何らかの形で学生へのフィードバックが必要である。
- ・ 授業の理解度を振り返りカード等を活用して難易度を調整する。
- ・ 難易度に関する満足度だけを追うことには問題がある。

**「9. 教員に、授業への熱意が感じられましたか。」**

- ・ 講義系は教員の教材に対する新鮮な目を維持することが必要。
- ・ 実技系は繰り返し行うことで教員のスキルがあがる。

**「11. 教員の話し方（声の大きさ、話す速さ、メリハリ等）は適切でしたか。」**

- ・ マイクを使って授業をすることが、必ずしも評価につながってはいないだろう。
- ・ 教室での音響の悪さ（物理的な教室環境）も、関係している。具体的には、通常教室の後ろ座席では、声が壁や床に反射して「わんわん」して聞こえるという事実。
- ・ 声が通りやすいように、座席位置を前に誘導する手法も有効であろう。
- ・ 「ゆっくり話す」「繰り返す」など、放送アナウンスの手法も必要かもしれない。

**「12. 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト（パワーポイント等）などの使い方は適切でしたか。」**

- ・ パワーポイント中心に授業を行っているが、より学生が理解を深める為に黒板も活用して分かりやすい授業に努める。

**「13. 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。」**

- ・ 質問を無理強いしたと受け取る学生もいるため、反って評価が低くなることもあるのではないかと。つまり、教員の行動が、学生から見ると、ポジティブに映らないときもあるのであろう。
- ・ 学生の持っている背後関係も十分に理解して問いかねないと、ただ単に「質問ありませんか」という問いでは、効果が出ないであろう。
- ・ 受講人数という物理的な環境にも左右されるであろう項目のため、改善が難しい問題ではある。

**「15. 教員は授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応してきましたか。」**

- ・ 具体的に、名前をあげて問題行動を指摘する方法も有効であろう。ただし、指摘を受けた学生が「私だけが注意された」と感じる可能性もある。
- ・ 厳格な授業運営をおこなうと、授業アンケート評価が低くなる傾向が見られるようであるが、それはそれで仕方のないこともある。
- ・ 座席を指定席にして、学生を管理する授業運営方法もある。
- ・ 私語をしている→注意することをプラスに評価する学生と先生が注意すると授業が進行しないと否定的に捉える学生がいるがどうするか？
- ・ 携帯をいじっている→注意する、取り上げる。
- ・ 授業にふさわしくない学生の行動とはどのようなものか？の考え方によって幅があるので、事前に考え方を統一しておいた方がよいのではないかと。

**「16. 教員は、全ての学生に公正な態度で接していましたか。」**

- ・ 教員の公正な態度、質問に丁寧に答えてもらえることを学生は期待している。

**「17. あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。」**

- ・ 授業内で、進捗の確認が必要であろう。具体的には、「本日はこの項目まで終了した」「テキストのここまで終了した」など確認をおこなうことで、自分の置かれている位置を学生が認識できるであろう。

- ・ 1回の授業のなかで、到達目標を設定し学生がそれを確認できるようにする必要。
- ・ 継続的な授業内容のなかで、学びを高めていくためには、こちら教員の運営上の工夫も必要ではある。たとえば、授業開始時に「前回のまとめ」をおこなう、授業終了時に「今回の重要事項をチェックする」などである。

#### 〈到達目標の理解〉

- ・ 学生にとって理解が難しいため、15回の授業の中でチェックポイント（小テスト、レポート）を設け、到達目標を達成するため、学生自身が自己評価をできるようにする。

#### 〈課題設定〉

- ・ 活動に到達目標を明確にする工夫は？  
フィードバックを工夫することが大切。質問を書かせる→コメントを必ず入れる。ハンコだけでも。達成度が見える（大変な作業なので科目は絞っている）返却時に声をかける
- ・ モチベーションを上げるのにコメントは効果がある。
- ・ 最後の授業で振り返りを言うのは？
- ・ 中間的な評価があった方が良いのか？
- ・ 点数や評価も見える数字などで表してあげても良いかも？

### 「19. 授業全体として満足できるものでしたか。」

- ・ 授業の難易度や厳格な授業運営と反比例的な項目であると考えられるために、学習時に理由づけ（動機付け？）が必要であろう。具体的には、「社会で必要とされる技術であるため、ここまでは理解しておく必要がある」、「社会のマナーとして守るべきことである」などの説明である。
- ・ この総合的な評価項目についても、授業外での学生との関わりが影響していると考えられる。つまり、授業外で学生との関わり（関係の良さ）を確保すると、学生の取り組み姿勢も変化し、それに伴い学習効果も上がり、その結果で満足度も上がるのではないか。
- ・ 授業の課題が明確であれば学生は満足する？
- ・ グループ討論では、報告性が簡単につかめないのが、学生は不安になる。
- ・ 提出物をこまめにチェックする教員は評価される。
- ・ クラスの雰囲気による差によって満足度の差が大きい。
- ・ 満足→到達した満足。

### 「その他」

- ・ 優れているメモ→感想を共有する。
- ・ 写真をラインで共有については、学生からのコメントはない。感想を共有し合う場が必要。

・グループの勝負で点の差別化→批判

〈授業の運営について〉

気をつけていること（ノウハウや課題など）

- ・ 冒頭に目標を明示し、講義の内容を説明する。
- ・ 検定を入れたりする。
- ・ 設備などに依存する場合は難しい。

〈着席方法〉

- ・ 音楽はスキル別に縦に並べる。
- ・ 人数の多い時は指定席、少ない時は自由席にしている。

〈グループ分け〉

- ・ グループは全く自由。
- ・ チームは教員がコントロールする必要がある。

（例）くじ引きでグループをつくらせる、誕生日・趣味、ゲーム形式。

〈マナー〉

- ・ スマホ、飲食は禁止をルールとして授業の最初に示してある。「違反者は評価しない」
- ・ スマホの充電を禁止すべきか？分からない。授業の共通ルールを教室に掲示する方法がある。

〈クラスの差〉

- ・ 差があるクラスでも、きちんと課題を意識的に説明するようにしたら差が縮まった。意味づけの為の説明。
- ・ 教育的効果と満足度の関係はどうなのか？データが取れるのか？

〈アンケート項目全体にわたり〉

- ・ 授業外の学生との関わりが、授業アンケート項目の評価にも関係性があるとも考えられる。つまり、授業外での学生との関わりも授業評価に出てしまっているのではないか。逆に、授業外での関わり（コミュニケーション）や親和性を高める努力（名前を覚える）があれば、授業運営をうまくこなすことが出来るのではないか。
- ・ 教員の人柄などに依るのではなく、具体的で有効な教授法を共有することで、教員全員のアンケート評価を高めていくことが望ましいであろう。

〈その他、アンケート実施に関する問題点の共有〉

- ・ アンケートをおこなう際に、アンケート実施側で意図している内容が正確に伝わることを担保する、調査実施方法も考えていく必要があろう。
- ・ 調査データの無効票の扱いについても考えていく必要がある。つまり、すべてのアンケートを集計するのではなく、突出した異常データの扱いをも考えるべきであろう。

平成 28 年 11 月 14 日

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 教員各位

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学  
学長 長柄 孝彦

### 平成 28 年度第 2 回 FD 研修会について（ご案内）

平素は FD 研修会の活動にご理解賜り、感謝申し上げます。

すでにご案内させていただいていますが、下記のとおり、平成 28 年度第 2 回 FD 研修会を開催いたします。ご多忙とは存じますが、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

#### 記

1. 日 時 平成 28 年 12 月 21 日（水） 13：10～14：10（60 分間）  
※教職員連絡会は 14：15～の開催となります。
2. 場 所 2 号館 6 階 2601 教室
3. 内 容 「新教務システムの概要とアクティブ・ラーニングへの活用」  
①新教務システムの該当と活用について（50 分間・システムディ社）  
②質疑応答（10 分間）
4. 対 象 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学教職員・非常勤講師
5. その他 第 3 回 FD 研修会 平成 29 年 3 月 1 日（水）14：50～16：20  
「初年次教育とアクティブ・ラーニング（仮）」（講演）  
講師 北九州市立大学准教授 見館好隆先生

#### 【問い合わせ先】

FD 研修会 WG 河合 (内線 6301)  
教務課 神谷 (雅) (内線 2024)  
以上

平成 29 年 2 月 7 日

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 教員各位

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学  
学長 長柄 孝彦

### 平成 28 年度第 3 回 FD 研修会について（ご案内）

平素は FD 研修会の活動にご理解賜り、感謝申し上げます。

すでにご案内させていただいていますが、下記のとおり、平成 28 年度第 3 回 FD 研修会を開催いたします。ご多忙とは存じますが、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

#### 記

1. 日 時 平成 29 年 3 月 1 日（水） 14 : 50 ~ 16 : 20（90 分間）  
※教職員連絡会は 14 : 15 ~ の開催となります。
2. 場 所 6 号館 2 階 6212 教室
3. 内 容 「初年次教育とアクティブ・ラーニング（仮）」  
講師 北九州市立大学准教授 見館好隆先生  
① 講演  
② 質疑応答
4. 対 象 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学教職員・非常勤講師の先生方
5. 参加申込み 参加を希望される先生方は、以下のアドレスに件名「第 3 回 F D 研修申込」本文にお名前を入力して【メール送信】または【TEL】にてお申込みください。  
メール送信先 : kyoumu@okazaki.ac.jp  
TEL 受付 : 0564-28-3315 教務課 神谷（雅）

#### 【問い合わせ先】

FD 研修会 WG	河合	（内線 6301）
教務課	神谷（雅）	（内線 2024）

以上



## 5. 授業公開関係

関係資料を次頁以降に掲載する。



平成 28 年 6 月 15 日

岡崎女子大学  
岡崎女子短期大学  
専任教員 各位

岡崎女子大学  
岡崎女子短期大学  
学 長 長 柄 孝 彦

## 平成 28 年度 授業公開の実施について

岡崎女子大学、岡崎女子短期大学では、授業の内容・方法について教職員による情報交換を行い、授業改善に資すること、また、教育内容の充実や教員の教育力向上を目指すことを目的として、授業公開を下記の実施内容のとおり行います。

## ◆実施内容

## (1) 参観

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の全専任教員は各期 1 回以上（1 年間 2 回以上）、他教員の授業を参観する。ただし、非常勤講師は任意とする。

## (2) 授業公開－参観の方法

公開前	<p>○参観する教員（以下：参観者）は、事前に公開する教員（以下：公開者）に参観を依頼する（方法は口頭、Eメールなど各先生にお任せします）。</p> <p>・授業内容（シラバス）に基づき、参観する日時を調整する。</p> <p>・公開者は授業内容について知らせ、学生に配布される教材や資料を渡し、参観の方法を検討する。</p>
公開日	<p>○公開者は、授業公開を行う授業を受講している学生に、実施について伝達する。</p> <p>○参観者は対象授業を原則 90 分間、参観する。</p>
公開後	<p>○参観者は、直ちに参観後「授業公開コメント・自己評価用紙（上部）」に感想等を記入し、公開者に提出する（メールなど方法は各先生で調整してください）。</p> <p>○公開者は、「授業公開コメント自己評価用紙」を受け取ったら、その内容を踏まえ、「授業公開コメント・自己評価用紙（下部）」に改善点等を記述する。記入後は教務課に提出する。</p>

\*授業公開コメント・自己評価用紙は Hot Biz（「キャビネット」→「FD・SD 関係」）からダウンロードすることができます。

なお、提出された授業公開コメント・自己評価用紙から、FD 研修会において話題提供をいただくことがありますのでよろしくお願いします。

## ◇問い合わせ先

FD 委員会「授業公開」ワーキンググループ  
岡崎女子短期大学 梅下 弘樹（内線 6309）  
山田 光治（内線 6317）

平成 28 年 6 月 15 日

岡崎女子大学  
岡崎女子短期大学

非常勤講師 各位

岡崎女子大学  
岡崎女子短期大学

学 長 長 柄 孝 彦

## 平成 28 年度 授業公開の実施について

岡崎女子大学、岡崎女子短期大学では、授業の内容・方法について教職員による情報交換を行い、授業改善に資すること、また、教育内容の充実や教員の教育力向上を目指すことを目的として、授業公開を下記の実施内容のとおり行います。

## ◆実施内容

## (1) 参観

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の全専任教員は各期 1 回以上（1 年間 2 回以上）、他教員の授業を参観する。ただし、非常勤講師は任意とする。

## (2) 授業公開－参観の方法

公開前	○参観する教員（以下：参観者）は、事前に公開する教員（以下：公開者）に参観を依頼する（方法は口頭、Eメールなど各先生にお任せします）。 ・授業内容（シラバス）に基づき、参観する日時を調整する。 ・公開者は授業内容について知らせ、学生に配布される教材や資料を渡し、参観の方法を検討する。
公開日	○公開者は、授業公開を行う授業を受講している学生に、実施について伝達する。 ○参観者は対象授業を原則 90 分間、参観する。
公開後	○参観者は、直ちに参観後「授業公開コメント・自己評価用紙（上部）」に感想等を記入し、公開者に提出する（メールなど方法は各先生で調整してください）。 ○公開者は、「授業公開コメント自己評価用紙」を受け取ったら、その内容を踏まえ、「授業公開コメント・自己評価用紙（下部）」に改善点等を記述する。記入後は教務課に提出する。

\* 授業公開コメント・自己評価用紙は、教務課にてお渡しいたします。（担当：神谷雅）  
 授業公開コメント・自己評価用紙はメールでの提出も可能です。用紙のフォーマットを送信致しますので、教務課 神谷（m\_kamiya@okazaki.ac.jp）までご連絡下さい。

なお、提出された授業公開コメント・自己評価用紙から、FD 研修会において話題提供をいただくことがありますのでよろしくお願いします。

## ◇問い合わせ先

FD 委員会「授業公開」ワーキンググループ  
 岡崎女子短期大学 梅下 弘樹（内線 6309）  
 山田 光治（内線 6317）  
 教務課 神谷 雅樹

## 平成 28 年度 授業公開コメント・自己評価用紙

記入日： 年 月 日

参観者	所属		氏名	
公開ー参観日	月 日 ( ) 限目			
授業科目		授業担当者		

## I. この授業で印象に残った点についてご記入ください。【参観者記入】

--

## II. 上記コメントを参考に、この授業の自己評価についてご記入ください。【公開者記入】

--

\* ご協力ありがとうございました。記入後は教務課（担当：神谷雅）まで提出してください。  
 なお、ご不明な点は、FD 委員会授業公開 WG（梅下・山田光）までお問い合わせください。

## 平成28年度「授業公開」実施結果

	日付	時限		授業科目名	授業形態	参観者	授業担当者
1	5月20日	2	短大	保育実習指導Ⅰ(施設)	演習	仲田	吉村
2	6月10日	2	短大	保育実習指導Ⅰ(施設)	演習	吉村	仲田
3	6月17日	4	短大	幼児音楽Ⅰ	演習	真木	妹尾・平尾
4	6月20日	4	短大	教育実習	実習	野田	渡部
5	6月20日	3	短大	教育実習	実習	渡部	野田
6	6月21日	2	短大	幼児体育Ⅰ	演習	山下	鳥居
7	6月23日	3	大学	造形Ⅲ	演習	小川	佐善
8	6月24日	4	短大	保育内容演習(健康)	演習	渡部	山下
9	6月30日	3	大学	造形Ⅲ	演習	白垣	佐善
10	6月30日	3	大学	日本文学	講義	鈴木(仁)	赤羽根
11	7月1日	3	短大	幼児音楽Ⅰ	演習	妹尾	平尾・小野
12	7月5日	3	大学	表現創作(作曲)	演習	白垣	北浦
13	7月7日	1	短大	保育カウンセリング	演習	鈴木(穂)	丸山
14	7月8日	1	大学	英語総合(基礎)	演習	小原	松井
15	7月8日	4	短大	幼児体育Ⅰ	演習	鳥居	山下
16	7月11日	2	短大	レクリエーション演習	演習	小野	岡田(摩)
17	7月11日	1	短大	基礎音楽Ⅰ	演習	滝沢	平尾・山内
18	7月11日	2	短大	幼児造形Ⅱ	演習	佐善	米窪
19	7月12日	4	短大	医学一般	講義	河合	黒野
20	7月12日	3	大学	日本文学	講義	赤羽根	上田
21	7月13日	1	短大	保育内容演習(環境)	演習	松井	後藤
22	7月14日	4	短大	発達と教育の心理学演習	演習	野田	丸山
23	7月14日	3	大学	造形Ⅲ	演習	米窪	佐善
24	7月14日	1	短大	基礎デザイン論	講義	市原	町田
25	7月14日	1	大学	乳児保育Ⅰ	演習	大岩	鈴木(方)
26	7月15日	4	大学	乳児保育Ⅰ	演習	鈴木(恒)	鈴木(方)
27	7月15日	3	大学	保育内容総論	演習	鈴木(方)	大岩
28	7月18日	2	短大	教育実習(事前・事後指導含む。)	実習	岸本	野田
29	7月19日	4	大学	子ども学総論	講義	上田	中田
30	7月19日	3	大学	表現創作(作曲)	演習	平尾	北浦
31	7月19日	3	短大	簿記原理Ⅰ	講義	黒野	河合
32	7月28日	4	短大	マネジメント論	講義	北浦	祝田
33	7月8日	4	短大	保育内容演習(健康)	演習	笹瀬	山下
34	11月21日	3	大学	体育実技Ⅱ	実技	真木	小野
35	11月23日	2	短大	児童文化演習Ⅱ	演習	山田(悠)	鈴木(穂)
36	11月3日	4	短大	保育カウンセリング	演習	山田(光)	丸山
37	11月24日	2	短大	児童文化演習Ⅱ	演習	丸山	鈴木(穂)
38	11月24日	3	大学	保育・教職実践演習	演習	矢藤	鈴木(方)・赤羽根
39	11月22日	4	短大	基礎音楽Ⅱ	演習	妹尾	滝沢・平尾
40	12月1日	1	大学	保育実習指導Ⅱ	演習	矢藤	岸本
41	12月2日	3	大学	保育内容演習「表現」Ⅱ	演習	大岩	本山
42	7月14日	5	短大	基礎演習Ⅱ	演習	横田	笹瀬
43	7月6日	2	短大	基礎演習Ⅱ	演習	丸山	笹瀬
44	6月30日	4	短大	ホスピタリティとマナーⅡ	講義	町田	笹瀬
45	11月17日	3	大学	幼児体育Ⅱ	演習	小野	山下
46	12月2日	1	短大	ライフとワーク	講義	長柄	笹瀬
47	12月2日	4	短大	保育実習指導Ⅰ	演習	鈴木(恒)	野田
48	11月30日	3・4	短大	幼児音楽Ⅱ	演習	山田(悠)	滝沢・平尾
49	12月5日	1	短大	基礎音楽Ⅱ	演習	滝沢	平尾・山内
50	12月13日	2	短大	外国語コミュニケーションⅡ	演習	鈴木(穂)	松井
51	12月8日	1	短大	児童文化演習Ⅱ	演習	野田	鈴木(穂)
52	7月18日	2	大学	子ども理解と評価	講義	祝田	小原
53	12月16日	3	大学	声楽	演習	小川	平尾
54	12月3日	1	短大	保育表現演習	演習	長柄	笹瀬
55	12月20日	1	短大	児童文学	講義	鈴木(仁)	鈴木(穂)
56	12月15日	3	大学	子どもの保健演習	演習	岸本	遠藤
57	12月26日	3	短大	指導法の研究	講義	大倉	渡部
58	12月28日	2	短大	児童文化演習Ⅱ	演習	松井	鈴木(穂)
59	1月5日	4	短大	簿記検定講座Ⅱ	演習	黒野	河合
60	12月23日	3	大学	保育内容演習(言葉)Ⅱ	演習	小宮	赤羽根

## 平成28年度「授業公開」実施結果

	日付	時限		授業科目名	授業形態	参観者	授業担当者
61	7月18日	5	短大	社会福祉	講義	梅下	仲田
62	12月22日	5	短大	レクリエーション概論	講義	梅下	小野
63	1月10日	1	短大	医事法制	講義	河合	黒野
64	1月18日	1	短大	保育課程論	講義	祝田	野田
65	1月20日	3	大学	声楽Ⅱ	演習	北浦	平尾
66	1月20日	3	短大	保育相談支援	演習	山田(光)	吉村
67	1月18日	2	短大	幼児音楽Ⅱ	演習	平尾	滝沢
68	1月17日	1	短大	幼児造形Ⅰ	演習	佐善	米窪
69	12月13日	2	短大	幼児造形Ⅰ	演習	横田	米窪
70	12月13日	2	大学	教育実習指導Ⅱ	演習	鈴木(方)	岸本
71	1月23日	4	大学	造形Ⅱ	演習	米窪	佐善
72	1月12日	2	大学	教職実践演習	演習	上田	赤羽根・鈴木(方)
73	10月24日	2	短大	幼児体育Ⅱ	演習	山下	鳥居
74	12月9日	4	大学	教育と発達心理学Ⅱ	講義	花田	小原
75	1月10日	2	大学	基礎音楽Ⅱ	演習	小宮	北浦
76	12月6日	2	大学	情報処理Ⅱ	演習	小原	花田
77	12月15日	4	大学	情報処理Ⅱ	演習	日野水	花田
78	1月10日	4	短大	情報基礎演習Ⅱ	演習	渡部	花田
79	1月16日	4	大学	造形Ⅱ	演習	花田	佐善
80	1月14日	3	短大	保育実習指導Ⅰ	演習	権	吉村
81	12月12日	4	大学	コミュニケーション演習	演習	権	岡本
82	1月14日	3	短大	保育実習指導Ⅰ	演習	仲田	吉村

## 6. ICT利用促進関係

関係資料を次頁以降に掲載する。



第4回FD委員会

2016年7月13日

## 教務等に係るWEBシステムへの要望等のまとめ

ICT利用促進WG（○矢藤、小原、花原）

標題の件についての意見募集に対して4名から必要な機能についての要望等がありましたので、下記の通り報告します。

### 記

#### 1 要望等

- 1日1回ログインして確認することの義務化
- 授業出欠のデータ入力化と関係者による閲覧及び非常勤講師控室のPC設置
- 休・補講等の随時の確認
- 使用教室・空き教室の確認
- 学年暦・行事・委員会等の確認
- 学生情報（成績、住所、顔写真等）の閲覧（※個人情報の保護に配慮して）
- ボランティア・アルバイト募集の情報

#### 2 情報提供等（原文を再録）

- ◆「dealer（ディーラー）」（藤田保健衛生大）→教員専用
  - 共有ファイルを使用して、学科ごとに運営管理していました。
  - 出欠席、成績、学内行事、資格試験対策、などの情報は「dealer」内のフォルダーに格納し、教員が自由に閲覧できるようになっています。情報共有しやすく、出席管理も簡単だったので、余計な書類は減りました。
  - 出欠席：授業後、教員が入力します。（非常勤は講師室のPCに入力）出席簿はなし。代わりに、授業実施簿を記入する義務がありました。
  - 成績：成績入力も「dealer」内のフォルダーで管理していました。ただし、学生への連絡文書に直結していたかどうかは、不明です（必要なら聞いてきます）
- ◆「CCI（シーシーアイ）」（名古屋学院大）→教員・学生用
  - 成績、シラバス、出席、メール、アンケート、スケジュール、学内行事等の情報が一括して利用できるシステムで、自宅からでも利用できたため、とても便利でした。欠席回数の警告も自動でしてくれるので、教員としては、助かりました。教材も入れておけるので、プリントがほしい学生は、自由に印刷してもらっていました。
  - アンケートは、任意で行えるようになっていましたが、FD委員会で実施するアンケートとは明確に区別され、実施されていました。
- ※同じようなシステムを愛知大学でも採用していました。
- ◆「nfu.jp（エヌエフユードットジェイピー）」（日本福祉大）→学生と教員を繋ぐツール
  - おしらせ掲示板、アンケート、各種文書の発行手続き等ができます。ここで、試験、レポート提出などでもできました。

以上



## おわりに ～FD活動の次年度の課題について～

## FD委員会

はじめの最後にも記述したとおり、建学の精神から3ポリシー、カリキュラムから教育内容・方法及び学修指導等の改善につながる構造の共通理解をもとに、各科目の授業内容の検証を授業アンケートから、学生生活全般の検証を学生満足度アンケートから行い、IRを設置するなどして、調査結果の分析・評価を各学科や関係部署に伝達し、授業運営や学修環境、学生の理解度等の具体的な課題を共有し解決していく体制づくりが必要との認識について、FD研修会等にて確認しあってきたが、中々一気には進まないのが現状である。

そこで次年度も引き続き、「授業アンケート」「授業公開」「FD研修会」の実施については、FD委員会の中のワーキンググループが中心となって企画し、FD委員会での検討を経て教授会、学部・学科会議で周知し全学的に実施していく。また、実施された取り組みの結果は、授業担当者及び関係部署に適宜フィードバックし、情報の共有化とともに共通認識の醸成が図られるように啓発していく。また、FD委員会を中心に、関係部署との連携体制のもと課題の解決に向けて継続的に検証していく必要がある。

以上の様なこれまでのFD活動を踏まえ、平成28年度の活動成果として追記すると、①FD活動強化のため、委員会をほぼ1ヶ月に1回開催したこと、②「授業アンケート」の結果に加え「授業アンケートによる自己点検報告書」を学修支援センターで開示し、学生をはじめ誰でも閲覧できる状態としたこと、③前年度に見直した「授業公開」のシステムを継続し、より活発な授業の相互参観を促したこと、④従来の3WG（授業アンケートWG、FD研修会WG、授業公開WG）に加え、ICT利用促進WGを新たに立ち上げたこと等が挙げられる。

次年度の課題としては、継続的に教育・研究内容及び教育方法の改善・向上を図るため、FD委員会として「授業アンケート」結果の詳細な分析に基づく考察を行い、現状の把握とともに今後のFDに関する取り組みに活かすための情報を整理し、授業内容や授業を取り巻く環境等の有効な改善策につなげていくことである。このことを意識し、また、モニター学生等を組織し学生達からの直接的なインタビューによる調査を行う体制づくりが必要である。さらには教育方法の共有とそこからの学びにつなげる「FD研修会」を実施したり、豊富なデータに基づくエビデンスの共有が可能な「FD活動・研究報告書」を作成したり、その報告書のより効果的な開示方法を検討したりすることが求められる。

これらのミッションを確実に継続実施することで、大きな効果を上げられると考えるが、さらに今後のビジョンとして、学修成果の可視化⇒履修カルテや学生ポートフォリオのデジタル化と集約・分析・共有・指導、アクティブ・ラーニングの推進⇒一斉講義形式授業のグループワーク演習形式授業への再構築と教室環境の整備、教職員協働による発達障害傾向や学力不足の学生への組織的対応⇒初年次教育の見直しやチューター制度の導入などといった取り組みを積極的に取り入れ推進する体制づくりが望まれよう。